

対象校No. 784
注4

学校コード F126310107537
注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置
注1

届出

注2
京都光華女子大学 人間健康学群

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人光華女子学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長戦略推進部
職名・氏名	スギモトウコ 杉本悠子
電話番号	075-325-5306
(夜間)	075-325-5306
e-mail	js@mail.koka.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人間健康学群

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 光華女子学園

(2) 大 学 名

京都光華女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-0882

京都府京都市右京区西京極葛野町38番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アベ ヤスキ) 阿部 恵木 (令和元年7月)		
学 長	(タカミ シゲル) 高見 茂 (平成31年4月)		
学 部 長	(ヨシカワ ヒデキ) 吉川 秀樹 (令和4年4月)	(サカイ コウジ) 酒井 浩二 (令和5年4月)	任期満了に伴う交代 (5)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間健康学群 学士(人間健康学)	社会学・社会福祉学関係 家政関係 文学関係	4年	12人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	48人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	12人 () []	人 () []	12人 () []	人 () []	12人 () []					
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3人 () []	人 () []	8人 () []	人 () []	2人 () []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3人 () []	人 () []	7人 () []	人 () []	2人 () []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3人 () []	人 () []	7人 () []	人 () []	2人 () []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	0人 () []	人 () []	4人 () []	人 () []	0人 () []					
入学定員超過率 B/A	-		-				0		0.33		0					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			0 [0] ()	0 [0] ()	4 [0] (0)	0 [0] (0)	0 [0] (0)	0 [0] (0)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			0 [0] (0)	0 [0] (0)	4 [0] (0)	0 [0] (0)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			0 [0] (0)	0 [0] (0)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			
計	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)				0 [0] (0)		4 [0] (0)		4 [0] (0)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	人	人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	0 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	4 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	4 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間健康学群>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通コア科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	京都光華の学び	1前	1								5
	アカデミックスキル入門	1前	1					1			6
	アカデミックライティング	1後	1			1					2
	伝統文化	3後	1								5
	小計(6科目)	-	8	0	0	1	0	1	0	0	17
外国語コミュニケーション	総合英語Ⅰ	1前	1								6
	総合英語Ⅱ	1後	1								6
	英会話Ⅰ	1・2前		1							4
	英会話Ⅱ	1・2後		1							4
	英語文献を読むⅠ	1・2前		1							1
	英語文献を読むⅡ	1・2後		1							1
	医療英語	1・2前後		1							2
	中国語Ⅰ	1・2前		1							3
	中国語Ⅱ	1・2後		1							3
	ハングルⅠ	1・2前		1							1
	ハングルⅡ	1・2後		1							1
	海外での語学研修	1・2前後		2							1
	小計(12科目)	-	2	11	0	0	0	0	0	0	15
健康とスポーツ	健康の科学	1・2前後		2				1			1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							2
	スポーツ実技Ⅱ	1・2後		1							4
	小計(3科目)	-		4	0	0	0	1	0	0	6
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後		2							1
	仏教文化	1・2後		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	言語と文学	1・2前後		2							2
	日本文化の理解	1・2前後		2							3
	京都の歴史と文化	1・2前後		2							2
	芸術文化論	1・2前		2							1
	サブカルチャー論	1・2前後		2							1
	現代アジア事情	1・2前後		2							1
	現代欧米事情	1・2後		2							1
	国際社会の理解	1・2前		2							1
	国際社会とジェンダー	1・2前後		2							1
	心理学	1・2前後		2							2
	社会学	1・2後		2							1
	日本国憲法	1・2前後		2							1
	現代社会と法	1・2前		2							1
	現代社会と政治	1・2後		2							1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通コア科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	京都光華の学び	1前	1								6
	アカデミックスキル入門	1前	1				1				6
	アカデミックライティング	1後	1								4
	データサイエンス入門	1後	1								2
	伝統文化	2・3・4後	1								5
	小計(7科目)	-	9	0	0	0	0	1	0	0	19
外国語コミュニケーション	総合英語Ⅰ	1前	1								1
	総合英語Ⅱ	1後	1								1
	English in Use A	1・2前		1							1
	English in Use B	1・2前		1							1
	English in Use C	1・2前		1							1
	English in Use D	1・2後		1							1
	English in Use E	1・2後		1							1
	English in Use F	1・2後		1							1
	医療英語	1・2前		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	ハングルⅠ	1・2前		1							2
	ハングルⅡ	1・2後		1							2
	海外での語学研修	1・2・3・4後	2								1
	小計(14科目)	-	2	13	0	0	0	0	0	0	9
健康とスポーツ	健康の科学	1・2後		2							13
	食生活と健康	1・2前		2							1
	生涯スポーツ入門	1・2後		2							1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							6
	スポーツ実技Ⅱ	1・2後		1							4
	アダプテッドスポーツ	1・2後		1							1
	マインドフルネス	1・2後		1							1
	教養固基入門	1・2後		1							1
	小計(8科目)	-		11	0	0	0	0	0	0	11
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後		2							1
	くらしのなかの宗教	1・2後		2							1
	仏教文化	1・2後		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	言語と文学	1・2前後		2							2
	日本文化の理解	1・2後		2							1
	京都の歴史と文化	1・2前		2							2
	芸術文化論	1・2前		2							1
	サブカルチャー論	1・2前後		2							1
	現代アジア事情	1・2前後		2							1
	現代欧米事情	1・2後		2							1
	国際社会の理解	1・2前		2							1
	国際社会とジェンダー	1・2後		2							1
	心理学	1・2前後		2							2
	社会学	1・2後		2							1
	日本国憲法	1・2後		2							1
	現代社会と法	1・2後		2							1
	現代社会と政治	1・2後		2							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人文・ 社会・ 自然	くらしのなかの経済学	1・2前後		2							1
	くらしのなかの統計学	1・2後		2							1
	生命の科学	1・2後		2							1
	生活と物理・化学	1・2前		2							2
	地域と環境	1・2前後		2							1
	生活と防災	1・2後		2							1
	ボランティア論	1・2前		2				1			2
	小計(24科目)	—	0	48	0	0	0	1	0	0	26
キャリア ア デザイン	情報リテラシー基礎	1・2前		1							1
	情報リテラシー応用	1・2後		1							1
	数的処理の基礎	1・2後		1							2
	日本語表現の技法	1・2前		1							1
	読解と思考の技法	1・2後		1							1
	Webデザイン	2・3前		2							1
	プログラミング入門	2・3後		2							1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後通		2							5
	インターンシップ	2・3前通		2							1
	小計(9科目)	—	0	13	0	0	0	0	0	0	12
留 学 生	日本語F I	1前		1							1
	日本語F II	1後		1							1
	日本語S I	2前		1							1
	日本語S II	2後		1							1
	日本事情 I	1前		1							1
	日本事情 II	1後		1							1
	小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3
専 門 基 礎	基礎ゼミ I	1前	1			1		1			
	基礎ゼミ II	2前	1			1		1			
	健康管理論	1前	2								1
	仏教と社会福祉	2後	2								1
	心理学概論	1前	2								1
	食生活と健康	1・2前	2								1
	公衆衛生学	2後	2								1
	情報社会の理解	1前		2							1
	情報技術の理解	1後		2							1
	社会と統計	2前		2							1
	専門職の連携(基礎)	1・2後		2							6
	小計(11科目)	—	12	8	0	1	0	1	0	0	14
福 祉 と 政 策	社会福祉の原理と政策 I	2前	2					1			
	社会福祉の原理と政策 II	2後	2					1			
	社会的処方	3・4後	2								1
	地域福祉と包括的支援体制 I	2・3前		2							1
	地域福祉と包括的支援体制 II	2・3後		2							1
	社会保障論	3・4後		2							1
	高齢者福祉	2・3前		2							1
	子ども家庭支援論	3・4前		2			1				
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1
	小計(10科目)	—	12	8	0	1	1	1	0	0	10

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人文・ 社会・ 自然	くらしのなかの経済学	1・2前後		2							1
	くらしのなかの統計学	1・2後		2							1
	情報社会の理解	1・2前		2							1
	生命の科学	1・2後		2							1
	生活と物理・化学	1・2前		2							2
	地域と環境	1・2前後		2							1
	生活と防災	1・2後		2							1
	ボランティア論	1・2前		2							1
	小計(26科目)	—	0	52	0	0	0	0	0	0	24
キャリア ア デザイン	情報リテラシー	1前		1							2
	情報技術の理解	1・2後		2							1
	数的処理の基礎	1・2前後		1							1
	読解と思考の技法	1・2後		1							2
	Webデザイン	2・3前		2							1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後通		2							6
	キャリア実習	1・2通		1							2
	インターンシップ	3・4通		2							2
	小計(8科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	13
データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	1・2前		2							1
	プログラミング入門	1・2後		2							1
	AIへのアプローチ	2・3前後		2							1
	データサイエンスへのアプローチ	2・3前後		2							1
	データサイエンスPBL	2・3前後		2							1
	小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	4
留 学 生	日本語F I (未開講)	1前		1							1
	日本語F II (未開講)	1後		1							1
	日本語S I (未開講)	2前		1							1
	日本語S II (未開講)	2後		1							1
	日本事情 I (未開講)	1前		1							1
	日本事情 II (未開講)	1後		1							1
	小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	1
専 門 基 礎	基礎ゼミ I (未開講)	1前	1			1		1			
	基礎ゼミ II	2前	1			1		1			
	健康管理論(未開講)	1前	2								1
	心の健康と社会福祉	2後	2								1
	心理学概論(未開講)	1前	2								1
	食生活論	1・2後	2			1					
	公衆衛生学	2前	2								1
	社会調査入門	2・3後		2							1
	専門職の連携(基礎)	1・2後		2				1			6
	小計(9科目)	—	12	4	0	1	1	1	0	0	9
福 祉 と 政 策	社会福祉の原理と政策 I	2前	2					1			
	社会福祉の原理と政策 II	2後	2					1			
	社会的処方(未開講)	3・4後	2								1
	地域福祉と包括的支援体制 I	2・3前		2							1
	地域福祉と包括的支援体制 II	2・3後		2							1
	社会保障論	3・4後		2							1
	高齢者福祉	2・3前		2							1
	子ども家庭支援論	3・4前		2			1				
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1
	小計(10科目)	—	12	8	0	1	1	1	0	0	10

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
福祉と政策	地域公共政策	2・3前		2							1
	社会政策	2・3後		2							1
	ソーシャルビジネス	2・3後		2							1
	ソーシャル・ビジネス演習	3・4通		1		1		1			
	小計(13科目)	—	8	17	0	1	1	1	0	0	7
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1
	臨床心理学入門	2前	2			1					1
	発達心理学入門	2後	2								1
	青年心理学	2・3後		2							1
	子どもと人間関係	3・4後		2							1
	学習・言語心理学	2・3・4後		2							1
	産業・組織心理学	2・3・4前		2							1
	環境心理学	2・3・4前		2							1
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後		2							1
	小計(9科目)	—	6	12	0	1	0	0	0	0	6
食と栄養	生命科学の基礎	1前	2								1
	食品学Ⅰ	1後	2								1
	食品学Ⅱ	2・3前		2							1
	食品衛生学	2・3後		2							1
	食マーケティング論	3・4前		2							1
	基礎栄養学Ⅰ	2前	2					1			
	基礎栄養学Ⅱ	2・3後		2				1			
	応用栄養学	3・4後		2				1			
	公衆栄養学	3・4前		2							1
	子どもの食と栄養	3・4後		2							1
	小計(10科目)	—	6	14	0	0	0	1	0	0	5
ゼミナール	専門演習Ⅰ	3前	1			1	1				
	専門演習Ⅱ	3後	1			1		2			
	卒業研究	4通	4			3	1	3			
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	3	0	0	0
関連科目	女性と現代社会	2・3・4後		2							1
	女性とビジネス	2・3・4後		2							1
	女性と経済	2・3・4前		2							1
	女性のアントレプレナーシップ	3・4前		1							1
	労働と法規	3・4前		2							1
	労働社会学	3・4後		2							1
	人体の構造と生理	1・2後		2							1
	人体の構造と生理	2・3前		2							1
	生活習慣病論	3・4前		2							1
	生涯スポーツ入門	1・2後		2							1
	生涯スポーツ実習	2・3・4後		1							1
	スポーツマネジメント論	3・4前		2							1
	社会調査法	3・4前		2		1					
	社会調査実習Ⅰ	3・4前		1							1
	社会調査実習Ⅱ	3・4後		1							1
	データ解析入門	2前		1							1
	データ解析応用	2後		1							1
	コンピュータ活用C	3前		1							1
	教育原理	1・2前		2				1			
	教育心理学	2・3・4前		2							1
	特別支援教育	2・3・4後		2							1
	教育の制度・運営	2・3・4前		2							1
	多文化理解	2・3・4前		2							1
	人権教育	2・3・4後		2							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
福祉と政策	地域公共政策	2・3前		2							1
	社会と環境	2後		2							
	ソーシャルビジネス	2・3後		2							1
	ソーシャル・ビジネス演習	3・4通		1		1		1			
	小計(13科目)	—	8	17	0	1	1	1	0	0	6
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1
	臨床心理学入門	2前	2			1					1
	発達心理学入門	2後	2								1
	青年心理学	2・3後		2							1
	子どもと人間関係	3・4後		2							1
	学習・言語心理学	2・3・4後		2							1
	産業・組織心理学	2・3・4前		2							1
	環境心理学	2・3・4前		2							1
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後		2							1
	小計(9科目)	—	6	12	0	1	0	0	0	0	7
食と栄養	生命科学の基礎(未開講)	1前	2								1
	食品学Ⅰ(未開講)	1後	2								1
	食品学Ⅱ	2・3前		2							1
	食品衛生学	2・3後		2							1
	食マーケティング論	3・4前		2							1
	基礎栄養学Ⅰ	2後	2					1			
	基礎栄養学Ⅱ	2・3前		2				1			
	応用栄養学Ⅰ	3・4後		2				1			
	公衆栄養学	3・4前		2							1
	子どもの食と栄養	3・4後		2							1
	小計(10科目)	—	6	14	0	0	0	1	0	0	4
ゼミナール	専門演習Ⅰ(未開講)	3前	1			1	1				
	専門演習Ⅱ(未開講)	3後	1			1		2			
	卒業研究	4通	4			3	2	2			
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	3	0	0	0
関連科目	女性と現代社会	2・3・4後		2							1
	女性とメディカル	2・3・4後		2							
	女性と経済	2・3・4前		2							1
	女性のアントレプレナーシップ	3・4後		2							1
	労働と法規	3・4前		2							1
	労働社会学	3・4後		2							1
	人体の構造と生理	1・2後		2							1
	人体の構造と生理	2・3前		2							1
	生活習慣病論	3・4前		2							1
	生涯スポーツ論	1・2後		2							1
	生涯スポーツ実習	2・3・4後		1							1
	スポーツマネジメント論	3・4前		2							1
	社会調査法	3・4前		2							1
	社会調査実習Ⅰ	3・4前		1							1
	社会調査実習Ⅱ	3・4後		1							1
	データサイエンス実践	2後		2							1
	データサイエンス発展	3・4前		2							1
	ビジネスデータ分析基礎	3前		2							
	教育原理	1・2前		2				1			
	教育心理学	2・3・4前		2							1
	特別支援教育	2・3・4後		2							1
	教育の制度・運営	2・3・4後		2							1
	多文化理解	2・3・4前		2							1
	人権教育	2・3・4後		2							1

関連科目	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連科目	生涯学習	3・4後		2							1
	小計(25科目)	—	0	43	0	1	0	1	0	0	16
自由科目	メディカルクラークⅠ	2・3・4前			2						1
	メディカルクラークⅡ	2・3・4後			2						1
	メディカルクラーク応用	2・3・4前			1						1
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4後			2						1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4前			2						1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1						1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1						1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1						1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1						5
	小計(9科目)	—	0		13	0	0	1	0	0	8
卒業要件及び履修方法											
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修10単位、選択22単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

関連科目	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連科目	生涯学習	3・4後		2							1
	小計(25科目)	—	0	47	0	0	1	0	0	0	16
自由科目	メディカルクラークⅠ	2・3・4前			2						2
	メディカルクラークⅡ	2・3・4後			2						2
	メディカルクラーク応用	2・3・4前			1						2
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4後			2						1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4前			2						1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1						1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1						1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1						1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1						5
	小計(9科目)	—	0		13	0	0	1	0	0	9
卒業要件及び履修方法											
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修11単位、選択21単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通コア科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	京都光華の学び	1前	1								5
	アカデミックススキル入門	1前	1					1			6
	アカデミックライティング	1後	1								5
	データサイエンス入門	1後	1								3
	伝統文化	2・3・4後	1								5
	小計(7科目)	—	9	0	0	0	0	1	0	0	21
外国語コミュニケーション	総合英語Ⅰ	1前	1								5
	総合英語Ⅱ	1後	1								5
	English in Use A	1・2前		1							2
	English in Use B	1・2前		1							1
	English in Use C	1・2前		1							1
	English in Use D	1・2後		1							2
	English in Use E	1・2後		1							1
	English in Use F	1・2後		1							1
	医療英語	1・2前		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	ハングルⅠ	1・2前		1							2
	ハングルⅡ	1・2後		1							2
	海外での語学研修	1・2・4後		2							1
	小計(14科目)	—	2	13	0	0	0	0	0	0	15
健康とスポーツ	健康の科学	1・2後		2							2
	食生活と健康	1・2前		2							1
	生涯スポーツ入門	1・2後		2							1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							5
	スポーツ実技Ⅱ	1・2後		1							4
	アダブテッドスポーツ	1・2後		1							1
	マインドフルネス	1・2後		1							1
	教養圏基入門	1・2後		1							1
	小計(8科目)	—		11	0	0	0	0	0	0	11

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通コア科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	京都光華の学び	1前	1								6
	アカデミックススキル入門	1前	1					1			7
	アカデミックライティング	1後	1								3
	伝統文化	2・3・4後	1								5
	小計(6科目)	—	8	0	0	0	0	1	0	0	18
外国語コミュニケーション	総合英語Ⅰ	1前	1								5
	総合英語Ⅱ	1後	1								5
	英会話Ⅰ	1・2前		1							2
	英会話Ⅱ	1・2後		1							2
	英語文献を読むⅠ(未開講)	1・2前		1							1
	英語文献を読むⅡ	1・2後		1							1
	医療英語	1・2後		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							3
	中国語Ⅱ	1・2後		1							3
	ハングルⅠ	1・2前		1							2
健康とスポーツ	ハングルⅡ	1・2後		1							2
	海外での語学研修	1・2・4後		2							1
	小計(12科目)	—	2	11	0	0	0	0	0	0	13
	健康の科学	1・2前後		2							2
健康とスポーツ	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							2
	スポーツ実技Ⅱ	1・2後		1							5
	小計(3科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	8

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後		2							1
	くらしのなかの宗教	1・2後		2							1
	仏教文化	1・2後		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	言語と文学	1・2前後		2							2
	日本文化の理解	1・2後		2							1
	京都の歴史と文化	1・2前		2							2
	芸術文化論	1・2前		2							1
	サブカルチャー論	1・2前後		2							1
	現代アジア事情	1・2前後		2							1
	現代欧米事情	1・2後		2							1
	国際社会の理解	1・2前		2							1
	国際社会とジェンダー	1・2後		2							1
	心理学	1・2前後		2							2
	社会学	1・2後		2							1
	日本国憲法	1・2後		2							1
	現代社会と法	1・2後		2							1
	現代社会と政治	1・2後		2							1
	くらしのなかの経済学	1・2前後		2							1
	くらしのなかの統計学	1・2後		2							1
	情報社会の理解	1・2前		2							1
	生命の科学	1・2後		2							1
	生活と物理・化学	1・2前		2							2
	地域と環境	1・2前		2							1
	生活と防災	1・2後		2							1
	ボランティア論	1・2前		2							1
	小計(26科目)	－	0	52	0	0	0	1	0	0	24
キャリアデザイン	情報リテラシー	1前		1							3
	情報技術の理解	1・2後		2							3
	数値処理の基礎	1・2前後		1							1
	読解と思考の技法	1・2後		1							2
	Webデザイン	2・3前		2							1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後通		2							6
	キャリア実習	1・2通		1							2
	インターンシップ	3・4通		2							2
	小計(8科目)	－	0	12	0	0	0	0	0	0	16
データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	1・2前		2							1
	プログラミング入門	1・2後		2							1
	AIへのアプローチ	2・3前後		2							1
	データサイエンスへのアプローチ	2・3前後		2							1
	データサイエンスPBL	2・3前後		2							1
	小計(5科目)	－	0	10	0	0	0	0	0	0	4
留学生	日本語FⅠ	1前		1							1
	日本語FⅡ	1後		1							1
	日本語SⅠ	2前		1							1
	日本語SⅡ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		1							1
	日本事情Ⅱ	1後		1							1
	小計(6科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後		2							1
	仏教文化	1・2後		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	言語と文学	1・2前後		2							2
	日本文化の理解	1・2前後		2							3
	京都の歴史と文化	1・2前後		2							2
	芸術文化論	1・2前		2							1
	サブカルチャー論	1・2前後		2							1
	現代アジア事情	1・2前後		2							1
	現代欧米事情	1・2後		2							1
	国際社会の理解	1・2前		2							1
	国際社会とジェンダー	1・2前後		2							1
	心理学	1・2前後		2							2
	社会学	1・2後		2							1
	日本国憲法	1・2前		2							2
	現代社会と法	1・2前		2							1
	現代社会と政治	1・2後		2							1
	くらしのなかの経済学	1・2前後		2							1
	くらしのなかの統計学	1・2後		2							1
	生命の科学	1・2後		2							1
	生活と物理・化学	1・2前		2							2
	地域と環境	1・2前後		2							1
	生活と防災	1・2後		2							1
	ボランティア論	1・2前		2				1			2
	小計(24科目)	－	0	48	0	0	0	1	0	0	27
キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	1前		1							2
	情報リテラシー応用	1後		1							3
	数値処理の基礎	1・2前後		1							3
	日本語表現の技法	1・2前		1							1
	読解と思考の技法	1・2後		1							2
	Webデザイン	2・3前		2							1
	プログラミング入門	2・3後		2							1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後通		2							9
	インターンシップ	2・3通		2							2
小計(9科目)	－	0	13	0	0	0	0	0	0	18	
留学生	日本語FⅠ(未開講)	1前		1							1
	日本語FⅡ	1後		1							1
	日本語SⅠ(未開講)	2前		1							1
	日本語SⅡ(未開講)	2後		1							1
	日本事情Ⅰ(未開講)	1前		1							1
	日本事情Ⅱ	1後		1							1
	小計(6科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門基礎	基礎ゼミⅠ	1前	1			1		1			
	基礎ゼミⅡ(未開講)	2前	1			1		1			
	健康管理論	1前	2								1
	仏教と社会福祉	2後	2								1
	心理学概論	1前	2								1
	食生活論	1・2後	2			1					
	公衆衛生学(未開講)	2前	2								1
	社会調査入門	2・3後		2		1					
	専門職の連携(基礎)	1・2後		2				1			5
	小計(9科目)	—	12	4	0	2	0	2	0	0	9
福祉と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2前	2					1			
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2後	2					1			
	社会的処方	3・4後	2								1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2・3前		2							1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2・3後		2							1
	社会保障論	3・4後		2							1
	高齢者福祉	2・3前		2							1
	子ども家庭支援論	3・4前		2		1					
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1
	地域公共政策	2・3前		2							1
	社会と環境	2後		2							
	ソーシャルビジネス	2・3後		2							1
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1
	臨床心理学入門	2前	2			1					1
	発達心理学入門	2後	2								1
	青年心理学	2・3後		2							1
	子どもと人間関係	3・4後		2							1
	学習・言語心理学	2・3・4後		2							1
	産業・組織心理学	2・3・4前		2							1
	環境心理学	2・3・4前		2							1
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後		2							1
	小計(9科目)	—	6	12	0	1	0	0	0	0	6
食べ物と栄養	生命科学の基礎	1前	2								1
	食品学Ⅰ	1後	2								1
	食品学Ⅱ	2・3前		2							1
	食品衛生学	2・3後		2							1
	食マーケティング論	3・4前		2							1
	基礎栄養学Ⅰ	2後	2					1			
	基礎栄養学Ⅱ	2・3前		2				1			
	応用栄養学Ⅰ	3・4後		2				1			
	公衆栄養学	3・4前		2							1
	子どもの食と栄養	3・4後		2							1
ゼミナール	小計(10科目)	—	6	14	0	0	0	1	0	0	5
	専門演習Ⅰ	3前	1			1	1				
	専門演習Ⅱ	3後	1			1		2			
	卒業研究	4通	4			3	1	3			
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	3	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門基礎	基礎ゼミⅠ(未開講)	1前	1			1		1			
	基礎ゼミⅡ(未開講)	2前	1			1		1			
	健康管理論	1前	2								1
	仏教と社会福祉	2後	2								1
	心理学概論	1前	2								1
	食生活と健康	1・2後	2								1
	公衆衛生学	2前	2								1
	情報社会の理解	1前		2							1
	情報技術の理解	1後		2							1
	社会と統計	2前		2							1
	専門職の連携(基礎)	1・2後		2							6
福祉と政策	小計(11科目)	—	12	8	0	1	0	1	0	0	13
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2前	2					1			
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2後	2					1			
	社会的処方	3・4後	2								1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2・3前		2							1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2・3後		2							1
	社会保障論	3・4後		2							1
	高齢者福祉	2・3前		2							1
	子ども家庭支援論	3・4前		2		1					
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1
	地域公共政策	2・3前		2							1
	社会政策	2・3後		2							1
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1
	臨床心理学入門	2前	2			1					1
	発達心理学入門	2後	2								1
	青年心理学	2・3後		2							1
	子どもと人間関係	3・4後		2							1
	学習・言語心理学	2・3・4後		2							1
	産業・組織心理学	2・3・4前		2							1
	環境心理学	2・3・4前		2							1
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後		2							1
	小計(9科目)	—	6	12	0	1	0	0	0	0	6
食べ物と栄養	生命科学の基礎	1前	2								1
	食品学Ⅰ	1後	2								1
	食品学Ⅱ	2・3前		2							1
	食品衛生学	2・3後		2							1
	食マーケティング論	3・4前		2							1
	基礎栄養学Ⅰ	2後	2					1			1
	基礎栄養学Ⅱ	2・3前		2				1			
	応用栄養学	3・4後		2				1			
	公衆栄養学	3・4前		2							1
	子どもの食と栄養	3・4後		2							1
ゼミナール	小計(10科目)	—	6	14	0	0	0	1	0	0	5
	専門演習Ⅰ	3前	1			1	1				
	専門演習Ⅱ	3後	1			1		2			
	卒業研究	4通	4			3	1	3			
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	3	0	0	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
関 連 科 目	女性と現代社会	2・3・4後		2								1
	女性とメディカル	2・3・4後		2								
	女性と経済	2・3・4前		2								1
	女性のアントレプレナーシップ	3・4後		2								1
	労働と法規	3・4前		2								1
	労働社会学	3・4後		2								1
	人体の構造と生理	1・2後		2								1
	人体の構造と生理	2・3前		2								1
	生活習慣病論	3・4前		2								1
	生涯スポーツ論	1・2後		2								1
	生涯スポーツ実習	2・3・4後		1								1
	スポーツマネジメント論	3・4前		2								1
	社会調査法	3・4前		2								1
	社会調査実習Ⅰ	3・4前		1								1
	社会調査実習Ⅱ	3・4後		1								1
	データサイエンス実践	2後		2								1
	データサイエンス発展	3・4前		2								1
	ビジネスデータ分析基礎	3前		2								
	教育原理	1・2前		2					1			
	教育心理学	2・3・4前		2								1
	特別支援教育	2・3・4後		2								1
	教育の制度・運営	2・3・4後		2								1
	多文化理解	2・3・4前		2								1
	人権教育	2・3・4後		2								1
	生涯学習	3・4後		2								1
	小計(25科目)	－	0	47	0	0	0	1	0	0	16	
自 由 科 目	メディカルクラークⅠ	2・3・4前			2							2
	メディカルクラークⅡ	2・3・4後			2							2
	メディカルクラーク応用	2・3・4前			1							2
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4後			2							1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4前			2							1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1							1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1							1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1							1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1							5
	小計(9科目)	－	0		13	0	0	1	0	0	9	
卒業要件及び履修方法												
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修11単位、選択21単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
関 連 科 目	女性と現代社会	2・3・4後		2								1
	女性とビジネス	2・3・4後		2								1
	女性と経済	2・3・4前		2								1
	女性のアントレプレナーシップ	3・4後		1								1
	労働と法規	3・4前		2								1
	労働社会学	3・4後		2								1
	人体の構造と生理Ⅰ	1・2後		2								1
	人体の構造と生理Ⅱ	2・3前		2								1
	生活習慣病論	3・4前		2								1
	生涯スポーツ入門	1・2後		2								1
	生涯スポーツ実習	2・3・4後		1								1
	スポーツマネジメント論	3・4前		2								1
	社会調査法	3・4前		2								1
	社会調査実習Ⅰ	3・4前		1								1
	社会調査実習Ⅱ	3・4後		1								1
	データ解析入門	2後		1								1
	データ解析応用	2前		1								1
	コンピュータ活用C	3前		1								1
	教育原理	1・2前		2				1				
	教育心理学	2・3・4前		2								1
	特別支援教育	2・3・4後		2								1
	教育の制度・運営	2・3・4後		2								1
	多文化理解	2・3・4前		2								1
	人権教育	2・3・4後		2								1
	生涯学習	3・4後		2								1
	小計(25科目)	－	0	43	0	0	0	1	0	0	18	
自 由 科 目	メディカルクラークⅠ	2・3・4前			2							2
	メディカルクラークⅡ	2・3・4後			2							2
	メディカルクラーク応用	2・3・4前			1							2
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4後			2							1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4前			2							1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1							1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1							1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1							1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1							5
	小計(9科目)	－	0		13	0	0	1	0	0	9	
卒業要件及び履修方法												
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修10単位、選択22単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・開講クラス数調整の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任の配置を「5」から「6」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「アカデミックスキル入門」の兼任・兼任の配置を「6」から「7」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アカデミックライティング」の専任教員等の配置を教授「1」から「0」、兼任・兼任「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「伝統文化」の配当年次を「3後」から「2・3・4後」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「4」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「4」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「医療英語」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「医療英語」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「ハングルⅠ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「ハングルⅡ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「海外での語学研修」の配当年次を「1・2前後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「健康の科学」の専任教員等の配置を講師「1」から「0」、兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「スポーツ実技Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「4」から「5」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「情報リテラシー基礎」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー基礎」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー応用」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー応用」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「数的処理の基礎」の配当年次を「1・2後」から「1・2前後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「数的処理の基礎」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「読解と思考の技法」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「産官学連携プロジェクト」の兼任・兼任の配置を「5」から「9」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「インターンシップ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「インターンシップ」の配当年次を「2・3前通」から「2・3通」に変更。
- ・申請時の記載内容修正の理由により、科目区分「留学生」の兼任・兼任の配置小計を「3」から「2」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「食生活と健康」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「公衆衛生学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「基礎栄養学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「基礎栄養学Ⅱ」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「女性のアントレプレナーシップ」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「社会調査法」の専任教員等の配置を教授「1」から「0」、兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「データ解析入門」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「データ解析応用」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「教育の制度・運営」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラークⅠ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラークⅡ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラーク応用」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。

【令和5年度】

- ・教育効果向上の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「アカデミックスキル入門」の兼任・兼任の配置を「7」から「6」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「アカデミックライティング」の兼任・兼任の配置を「3」から「5」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「情報リテラシー応用」から「データサイエンス入門」、「選択」から「必修」、科目区分を「キャリアデザイン」から「共通コア科目」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use A」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use B」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use C」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use D」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use E」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「English in Use F」を追加。
- ・時間割調整の理由により、「医療英語」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「中国語Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「健康の科学」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「食生活と健康」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「生涯スポーツ入門」を追加。
- ・開講クラス数調整の理由により、「スポーツ実技Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「2」から「5」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「スポーツ実技Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「5」から「4」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アダプテッドスポーツ」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「マインドフルネス」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「教養圏基入門」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「くらしのなかの宗教」を追加。
- ・時間割調整の理由により、「日本文化の理解」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本文化の理解」の兼任・兼任の配置を「3」から「1」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「京都の歴史と文化」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「国際社会とジェンダー」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「現代社会と法」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「ボランティア論」の教員配置を「講師1」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報社会の理解」の科目区分を「専門基礎」から「リベラルアーツ教育（人文・社会・自然）」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「情報社会の理解」の配当年次を「1前」から「1・2前」へ変更。

- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「情報リテラシー基礎」から「情報リテラシー」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「情報リテラシー」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報技術の理解」の科目区分を「専門基礎」から「キャリアデザイン」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「情報技術の理解」の配当年次を「1後」から「1・2後」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「数的処理の基礎」の兼任・兼任の配置を「3」から「1」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「産官学連携プロジェクト」の兼任・兼任の配置を「9」から「6」へ変更。
- ・三省合意によるインターンシップ制度の見直しにより、「キャリア実習」を追加。
- ・三省合意によるインターンシップ制度の見直しにより、「インターンシップ」の配当年次を「2・3通」から「3・4通」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目区分「データサイエンス・AI」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「データサイエンスのための数学」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「AIへのアプローチ」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「データサイエンスへのアプローチ」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「データサイエンスPBL」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「情報技術の理解」の科目区分を「専門基礎」から「キャリアデザイン」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「プログラミング入門」の科目区分を「キャリアデザイン」から「データサイエンス・AI」へ変更。
- ・時間割編成の理由により、「プログラミング入門」の配当年次を「2・3後」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「食生活と健康」から「食生活論」、教員の配置を「兼任1」から「教授1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「社会と統計」から「社会調査入門」、配当年次を「2前」から「2・3後」、教員の配置を「兼任1」から「教授1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「社会と環境」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「応用栄養学」から「応用栄養学Ⅰ」へ変更。□
- ・教育効果向上の理由により、「女性とメディカル」を追加。
- ・教育効果向上の理由により、「女性のアントレプレナーシップ」の単位数を「1」から「2」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「生涯スポーツ入門」から「生涯スポーツ論」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「データ解析入門」から「データサイエンス実践」へ変更し、単位数を「1単位」から「2単位」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「データ解析応用」から「データサイエンス発展」へ変更し、単位数を「1単位」から「2単位」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、科目名称を「コンピュータ活用C」から「ビジネスデータ分析基礎」へ変更し、単位数を「1単位」から「2単位」へ変更。

【令和6年度】

- ・教育効果向上の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任の配置を「5」から「6」へ変更。
- ・専任教員の昇任により、「アカデミックススキル入門」の専任教員等の配置を「講師」から「准教授」へ変更。
- ・時間割調整の理由により、「アカデミックライティング」の兼任・兼任の配置を「5」から「4」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「データサイエンス入門」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「5」から「1」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「5」から「1」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「English in Use A」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「English in Use D」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「健康の科学」の兼任・兼任の配置を「2」から「13」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「スポーツ実技Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「5」から「6」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「情報リテラシー」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「情報技術の理解」の兼任・兼任の配置を「3」から「1」へ変更。
- ・専任教員の昇任により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を「講師」から「准教授」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「心の健康と社会福祉」を追加。
- ・時間割調整の理由により、「社会調査入門」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「専門職の連携（基礎）」の兼任・兼任の配置を「5」から「6」へ変更。
- ・専任教員の昇任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「講師3」「准教授1」から「講師2」「准教授2」へ変更。
- ・専任教員の昇任により、「教育原理」の専任教員等の配置を「講師」から「准教授」へ変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	103 科目	9 科目	140 科目	29 科目 [1]	114 科目 [11]	9 科目 [0]	152 科目 [12]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	社会的処方	2	3・4	専門	必修	令和4年度の入学生が0のため、未開講となった
2	専門演習Ⅰ	1	3	専門	必修	令和4年度の入学生が0のため、未開講となった
3	専門演習Ⅱ	1	3	専門	必修	令和4年度の入学生が0のため、未開講となった
4	基礎ゼミⅠ	1	1	専門	必修	令和6年度の入学生が0のため、未開講となった
5	健康管理論	2	1	専門	必修	令和6年度の入学生が0のため、未開講となった
6	心理学概論	2	1	専門	必修	令和6年度の入学生が0のため、未開講となった
7	生命科学の基礎	2	1	専門	必修	令和6年度の入学生が0のため、未開講となった
8	食品学Ⅰ	2	1	専門	必修	令和6年度の入学生が0のため、未開講となった
9	日本語Ⅰ	1	1	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった
10	日本語Ⅱ	1	1	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった
11	日本語Ⅲ	1	2	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった
12	日本語Ⅳ	1	2	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった
13	日本事情Ⅰ	1	1	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった
14	日本事情Ⅱ	1	1	一般	必修(留)	留学生の入学生が0のため、未開講となった

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	英会話Ⅰ	1	1・2前	一般	選択	認可時のカリキュラムではⅠ・Ⅱのセット履修を想定していたが、英語の履修機会を増やし、英語離れを解消するため、新たに単元ごとの科目を設置した。
2	英会話Ⅱ	1	1・2後	一般	選択	認可時のカリキュラムではⅠ・Ⅱのセット履修を想定していたが、英語の履修機会を増やし、英語離れを解消するため、新たに単元ごとの科目を設置した。
3	英語文献を読むⅠ	1	1・2前	一般	選択	認可時のカリキュラムではⅠ・Ⅱのセット履修を想定していたが、英語の履修機会を増やし、英語離れを解消するため、新たに単元ごとの科目を設置した。
4	英語文献を読むⅡ	1	1・2前	一般	選択	認可時のカリキュラムではⅠ・Ⅱのセット履修を想定していたが、英語の履修機会を増やし、英語離れを解消するため、新たに単元ごとの科目を設置した。
5	日本語表現の技法	1	1・2前	一般	選択	読解力を養う発展科目の位置づけとして設置していたが、リメディアル科目として「読解と思考の技法」、全学必修として「アカデミックススキル入門」「アカデミックライティング」を設置しているため、学生のニーズにあわせて科目整理を行った。
6	社会政策	2	2・3後	専門	選択	共通開講予定の2023年度キャリア形成学科の専門課程の変更に伴い、科目「社会政策」の内容の一部を科目「地域公共政策」に組み込み科目の統合を行った。
7	女性とビジネス	2	2・3・4後	専門	選択	本学の健康創造キャンパス推進の方針に沿い、科目「女性とビジネス」を健康創造志向となる科目「女性とメディカル」に変更を行った。
8	仏教と社会福祉	2	2後	専門	必修	共通開講予定の2024年度福祉リハビリテーション学科の専門課程の変更に伴い、科目「仏教と社会福祉」の内容の一部を科目「心の健康と社会福祉」に組み込み科目の統合を行った。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設年度である令和4年度には入学者が0名であったことより、在学生へのカリキュラム変更における影響がなかったため、教育的効果を鑑みカリキュラム変更を行った。なお、令和5年度の入学生に対しては、新カリキュラムにて履修登録説明会やリベラルアーツ教育科目および専門教育ガイダンスを実施し、カリキュラム変更による不利益がないよう履修指導および周知を図った。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{22}{140} = \boxed{15.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都光華女子大学短期 大学部と共用 ・短大必要面積：校地 2,000㎡ 3,300㎡、校 舎2,350㎡ 4,600㎡ ・運動場用地は、校舎敷 地と別地(車 約20分) ・津島館の解体(2022-11)-お よび財産目録にのじた面積へ 修正 ・新棟(光輝館)の建設に伴 い、校舎面積が増加 ・2022年11月頃、運動場用地 内(大原野がランド)に、市 や国、個人所有の土地が含ま れていることが発覚した(6 筆：合計 781.43㎡)。それ を是正するため、市や国等と 相談していたが、売り払いで きる時期が未定という回答で あった。このうち、一部の土 地は、2023年度に売り払いの 承諾が得られたため、2023年 11月と2024年4月に土地を取 得した(4筆：427.14㎡)。 登記上の面積変更のため、学 生の学修には一切影響は無 い。残りの土地(2筆： 354.29㎡)については、市や 個人の承諾が下り次第、土地 を取得していく予定である。 また、同時に本来は公共で管 理する必要がある大原野が りが周辺の農道・水路が本学 園の所有物になっていること が発覚したため、市の承諾が 得れ次第、寄付の手続きを行 う(減少面積：約1,697.73 ㎡) こちらも、登記上の面積 変更のため、学生の学修には 一切影響は無い。		
	校 舎 敷 地	0.00 ㎡	9,302.43 ㎡ 8,408.28 ㎡ 9,009.50 ㎡	0.00 ㎡	9,302.43 ㎡ 8,408.28 ㎡ 9,009.50 ㎡			
	運動場用地	0.00 ㎡	28,894.87 ㎡ 28,467.73 ㎡	0.00 ㎡	28,894.87 ㎡ 28,467.73 ㎡			
	小 計	0.00 ㎡	38,197.30 ㎡ 36,876.01 ㎡ 37,411.11 ㎡	0.00 ㎡	38,197.30 ㎡ 36,876.01 ㎡ 37,411.11 ㎡			
	そ の 他	0.00 ㎡	13,109.95 ㎡ 14,004.10 ㎡ 13,469.88 ㎡	0.00 ㎡	13,109.95 ㎡ 14,004.10 ㎡ 13,469.88 ㎡			
校 地 等	合 計	0.00 ㎡	51,307.25 ㎡ 60,880.11 ㎡ 50,947.99 ㎡	0.00 ㎡	51,307.25 ㎡ 60,880.11 ㎡ 50,947.99 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	11,103.96 ㎡ 9,811.35 ㎡ 9,970.77 ㎡	25,214.85 ㎡ 24,217.59 ㎡ 24,475.59 ㎡	1,643.42 ㎡ 678.92 ㎡	37,962.23 ㎡ 34,607.86 ㎡ 35,025.28 ㎡	京都光華女子大学短期大学部と 共用(短大必要面積：校地2,000 ㎡ 3,300㎡、校舎2,350㎡ 4,600 ㎡) 専用：大学全体の面積 津島館を解体(2022-11)-および およびがであったため ・新棟(光輝館)の建設および 用途変更(大学→短大)があっ たため、面積が増加 ・完成年度の面積に一部誤りが あったため、修正		
		(11,170.96 ㎡) (9,811.35 ㎡) (9,970.77 ㎡)	(25,214.85 ㎡) (24,217.59 ㎡) (24,475.59 ㎡)	(1,643.42 ㎡) (678.92 ㎡)	(38,029.23 ㎡) 34,607.86 ㎡ (35,025.28 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	49室 54室	44室 45室	47室 33室	3室 5室 (補助職員 一人)	大学全体 用途変更等により修正		
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数						
	人間健康学群	7 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体共用分 図書 232,131[31,588] 244,672[32,731] 241,824[32,409] 学術雑誌 5,341[418] 5,230[414] 電子ジャーナル 6[3] 6[2] 視聴覚 4480 4755 4742
	人間健康学群	12,195 11,958 11,747 [958] 12,195 11,958 (11,747 [958])	431 429 [150] 431 (429 [150])	0 [2] (0 [2])	345 344 337 (345) (344) (337)	200 (50) 200 (50)	— (—) — (—)	
	計	12,195 11,958 11,747 [958] 12,195 11,958 (11,747 [958])	431 429 [150] 431 (429 [150])	0 [2] (0 [2])	345 344 337 (345) (344) (337)	200 (50) 200 (50)	— (—) — (—)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	2968.70㎡	236		326.139				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1164.99㎡	—		—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※記載誤りのため修正
	教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	500千円	2,000千円 12,000千円	2,000千円 12,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	5,000千円	1,000千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,320千円 1,500千円	第2年次 1,320千円 1,250千円	第3年次 1,320千円 1,250千円	第4年次 1,320千円 1,250千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、寄付金収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	京都光華女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
看護福祉リハビリテーション学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
福祉リハビリテーション学科	4	90	-	90	学士(医療福祉学)	0.53	-	-	令和6	京都市右京区西京極葛野町38番地				
社会福祉専攻	4	30	-	30	学士(医療福祉学)	0.20	-	-	令和6	同上				
言語聴覚専攻	4	30	-	30	学士(医療福祉学)	0.67	-	-	令和6	同上				
作業療法専攻	4	30	-	30	学士(医療福祉学)	0.73	-	-	令和6	同上				
看護学科	4	85	-	85	学士(看護学)	1.01	-	-	令和6	同上				
キャリア形成学部								-						
キャリア形成学科	4	75	-	345	学士(教養)	0.71	-	-	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(90→75)			
健康科学部														
健康栄養学科	4	120	-	480	学士(栄養学)	0.80	-	-	平成22	同上				
管理栄養士専攻	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.88	-	-	平成22	同上				
健康スポーツ栄養専攻	4	40	34	160	学士(栄養学)	0.64	-	-	平成22	同上	令和4年4月より編入学生募集停止			
看護学科	4	85	-	255	学士(看護学)	1.12	-	-	平成23	同上	令和6年4月より学生募集停止			
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	0.70	-	-	平成26	同上				
医療福祉学科	4	60	-	180	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止			
社会福祉専攻	4	30	-	90	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止			
言語聴覚専攻	4	30	-	90	学士(医療福祉学)	-	-	-	平成26	同上	令和6年4月より学生募集停止			
こども教育学部								-						
こども教育学科	4	55	-	275	学士(こども教育学)	0.61	-	-	平成27	同上	令和6年度から入学定員変更(70→55)			
人間健康学群	4	12	-	36	学士(人間健康学)	0.11	-	-	令和4	同上				
大学全体	4	497	-	1986	-	-	-	-	-	-				

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の 学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考		
歯科衛生学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (歯科衛生 学)	0.73	倍	年度	令和6	京都市右京区西京 極葛野町38番地	令和6年度から入学定員変更（100→60）		
ライフデザイン学科	2	60	-	160	短期大学士 (ライフデザ イン学)	0.76	倍	-	平成18	同上			
短期大学全体	3 2	70 60	-	230	-	-	-	-	-	-			

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の 学科数		収容定員充足率1.15倍以上 の学科数	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				

- （注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜人間健康学群＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学群 長)	吉川 秀樹 (63) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究
専	教授	酒井 浩二 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
		アカデミックライティング ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅰ 卒業研究 社会調査法
専	教授	徳田 仁子 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (46) ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (49) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		ボランティア論 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中木 直子 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（生活環境学）
		健康の科学 基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	西川 潤 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学群 長)	吉川 秀樹 (63) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究
専	教授	酒井 浩二 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
		ソーシャル・ビジネス演 習 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	徳田 仁子 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (47) ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (49) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		ボランティア論 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中木 直子 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（生活環境学）
		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	西川 潤 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉川 秀樹 (64) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 食生活論
専	教授 (学群 長)	酒井 浩二 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
		ソーシャル・ビジネス演 習 専門演習Ⅰ 卒業研究 社会調査入門
専	教授	徳田 仁子 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (48) ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中木 直子 (36) ＜令和4年4月＞ 博士（生活環境学）
		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 専門職の連携（基礎）
専	講師	西川 潤 (35) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉川 秀樹 (65) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 食生活論
専	教授 (学群 長)	酒井 浩二 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（情報学）
		ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅰ 卒業研究 社会調査入門
専	教授	徳田 仁子 (69) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (49) ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中木 直子 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（生活環境学）
		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 専門職の連携（基礎）
専	准教授	西川 潤 (36) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	朝比奈 英夫 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	朝比奈 英夫 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	朝比奈 英夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	朝比奈 英夫 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ			言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ			言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ アカデミックライティング			言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ アカデミックライティング 読解と思考の技法
兼任	教授	阿部 一晴 (60) ＜令和4年4月＞ 修士(応用情報科学)	兼任	教授	阿部 一晴 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(応用情報科学)	兼任	教授	阿部 一晴 (62) ＜令和5年4月＞ 修士(応用情報科学)	兼任	教授	阿部 一晴 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(応用情報科学)
		くらしのなかの経済学 情報技術の理解			くらしのなかの経済学 情報技術の理解 情報社会の理解			くらしのなかの経済学 情報社会の理解 AIへのアプローチ			くらしのなかの経済学 情報社会の理解 AIへのアプローチ
兼任	教授	石井 祐理子 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)	兼任	教授	石井 祐理子 (56) ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)	兼任	教授	石井 祐理子 (57) ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)	兼任	教授	石井 祐理子 (58) ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ
兼任	教授	伊藤 美加 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	伊藤 美加 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	伊藤 美加 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	伊藤 美加 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		心理学 教育心理学			心理学 教育心理学 人権教育			心理学 教育心理学 人権教育			心理学 教育心理学 人権教育
兼任	教授	上田 修三 (67) ＜令和4年4月＞ 経済学士	兼任	教授	上田 修三 (67) ＜令和5年4月＞ 経済学士	兼任	教授	上田 修三 (68) ＜令和5年4月＞ 経済学士	兼任	教授	上田 修三 (69) ＜令和5年4月＞ 経済学士
		海外での語学研修 日本語SⅠ 日本語SⅡ			海外での語学研修 日本語SⅠ 日本語SⅡ			海外での語学研修			海外での語学研修
兼任	教授	加藤 千恵 (65) ＜令和4年4月＞ 京都光華の学び 社会学 インターンシップ	兼任	教授	加藤 千恵 (65) ＜令和5年4月＞ 京都光華の学び 社会学 女性と現代社会	兼任	教授	加藤 千恵 (66) ＜令和5年4月＞ 京都光華の学び 社会学 女性と現代社会	兼任	講師	加藤 千恵 (67) ＜令和5年4月＞ 京都光華の学び 社会学 女性と現代社会
兼任	教授	川西 千弘 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	川西 千弘 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	講師	川西 千弘 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	講師	川西 千弘 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		心理学概論 産業・組織心理学 環境心理学			心理学概論 産業・組織心理学 環境心理学			産業・組織心理学 環境心理学			産業・組織心理学 環境心理学
兼任	教授	河原 聡子 (67) ＜令和4年9月＞ 教育学士	兼任	教授	河原 聡子 (67) ＜令和5年9月＞ 教育学士						
		数的処理の基礎			数的処理の基礎						
兼任	教授	河村 民平 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(健康科学)	兼任	教授	河村 民平 (45) ＜令和5年9月＞ 博士(健康科学)	兼任	教授	河村 民平 (46) ＜令和5年9月＞ 博士(健康科学)			
		医療英語 専門職の連携(基礎)			医療英語 専門職の連携(基礎)			専門職の連携(基礎)			
兼任	教授	木戸 美幸 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士									
		多文化理解									
兼任	教授	荃津 智子 (62) ＜令和4年9月＞ 修士(看護学)	兼任	教授	荃津 智子 (63) ＜令和5年9月＞ 修士(看護学)	兼任	教授	荃津 智子 (64) ＜令和5年9月＞ 修士(看護学)	兼任	教授	荃津 智子 (65) ＜令和5年9月＞ 修士(看護学)
		専門職の連携(基礎)			専門職の連携(基礎)			専門職の連携(基礎)			健康の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	河野 和清 (71) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	教育の制度・運営 人権教育
兼任	教授	小森 康加 (52) ＜令和5年9月＞ 博士(スポーツ医学)	生涯スポーツ実習
兼任	教授	澤井 律之 (65) ＜令和4年4月＞ 文学博士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (66) ＜令和4年9月＞ 工学博士	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学
兼任	教授	千野 美和子 (67) ＜令和4年9月＞ 博士(教育学)	専門職の連携(基礎)
兼任	教授	高野 拓樹 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)	生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (62) ＜令和5年4月＞ 教育学博士	社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	谷本 寛文 (52) ＜令和4年9月＞ 修士(教育学)	読解と思考の技法
兼任	教授	田縁 眞弓 (67) ＜令和4年4月＞ 応用英語修士	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (55) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)	くらしのなかの統計学 データ解析入門 データ解析応用 コンピュータ活用C 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	西川 智文 (55) ＜令和4年4月＞ 医学博士	健康管理論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	河野 和清 (71) ＜令和6年9月＞ 博士(教育学)	教育の制度・運営
兼任	教授	小森 康加 (52) ＜令和6年9月＞ 博士(スポーツ医学)	生涯スポーツ実習
兼任	教授	澤井 律之 (65) ＜令和5年4月＞ 文学博士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (67) ＜令和5年9月＞ 工学博士	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学
兼任	教授	高野 拓樹 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (62) ＜令和6年4月＞ 教育学博士	社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	田縁 眞弓 (68) ＜令和5年4月＞ 応用英語修士	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	京都光華の学び くらしのなかの統計学 データ解析応用 健康政策特別演習Ⅳ 読解と思考の技法 健康政策特別演習Ⅳ 産官学連携プロジェクト
兼任	教授	西川 智文 (55) ＜令和5年4月＞ 医学博士	健康管理論 健康の科学
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	河野 和清 (72) ＜令和6年9月＞ 博士(教育学)	教育の制度・運営
兼任	教授	小森 康加 (53) ＜令和6年9月＞ 博士(スポーツ医学)	生涯スポーツ実習
兼任	教授	澤井 律之 (66) ＜令和5年4月＞ 文学博士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (68) ＜令和5年9月＞ 工学博士	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学
兼任	教授	高野 拓樹 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (63) ＜令和6年4月＞ 教育学博士	社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	田縁 眞弓 (69) ＜令和5年4月＞ 応用英語修士	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	京都光華の学び くらしのなかの統計学 健康政策特別演習Ⅳ 読解と思考の技法 データサイエンスへのアプローチ
兼任	教授	西川 智文 (56) ＜令和5年4月＞ 医学博士	健康管理論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	河野 和清 (73) ＜令和6年9月＞ 博士(教育学)	教育の制度・運営
兼任	教授	小森 康加 (54) ＜令和6年9月＞ 博士(スポーツ医学)	生涯スポーツ実習
兼任	教授	澤井 律之 (67) ＜令和5年4月＞ 文学博士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (69) ＜令和5年9月＞ 工学博士	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学 健康の科学
兼任	教授	高野 拓樹 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (64) ＜令和6年4月＞ 教育学博士	社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	田縁 眞弓 (70) ＜令和5年4月＞ 応用英語修士	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	京都光華の学び くらしのなかの統計学 健康政策特別演習Ⅳ 読解と思考の技法 データサイエンスへのアプローチ
兼任	教授	西川 智文 (57) ＜令和5年4月＞ 医学博士	健康管理論

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (66) ＜令和4年9月＞ 医学博士	兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (66) ＜令和5年9月＞ 医学博士	兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (67) ＜令和5年9月＞ 医学博士	兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (68) ＜令和5年9月＞ 医学博士
		人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論			人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論			人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論			人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論
兼任	教授	吉田 咲子 (59) ＜令和4年4月＞ 工学学士	兼任	教授	吉田 咲子 (60) ＜令和5年4月＞ 工学学士						
		産官学連携プロジェクト			産官学連携プロジェクト						
						兼任	教授	松越 達也 (57) ＜令和5年9月＞ 学士(学術)	兼任	教授	松越 達也 (58) ＜令和5年9月＞ 学士(学術)
								生涯スポーツ論			生涯スポーツ論
兼任	准教授	臼井 義比古 (58) ＜令和4年4月＞ 工学修士	兼任	准教授	臼井 義比古 (58) ＜令和5年4月＞ 工学修士	兼任	准教授	臼井 義比古 (59) ＜令和5年4月＞ 工学修士	兼任	准教授	臼井 義比古 (60) ＜令和5年4月＞ 工学修士
		アカデミックススキル入門 生活と物理・化学 数的処理の基礎 プログラミング入門			アカデミックススキル入門 生活と物理・化学 数的処理の基礎 プログラミング入門			アカデミックススキル入門 生活と物理・化学 数的処理の基礎 プログラミング入門			アカデミックススキル入門 生活と物理・化学 情報技術の理解 数的処理の基礎 プログラミング入門
兼任	准教授	内田 和寿 (47) ＜令和4年9月＞ 修士(体育学)	兼任	准教授	内田 和寿 (47) ＜令和5年9月＞ 修士(体育学)	兼任	准教授	内田 和寿 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(体育学)			
		スポーツ実技Ⅱ 生涯スポーツ入門			スポーツ実技Ⅱ 生涯スポーツ入門			スポーツ実技Ⅱ 生涯スポーツ入門 スポーツ実技Ⅰ アダプテッドスポーツ			
兼任	准教授	大谷 多加志 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(人間文化学)	兼任	准教授	大谷 多加志 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(人間文化学)	兼任	准教授	大谷 多加志 (44) ＜令和6年4月＞ 博士(人間文化学)	兼任	准教授	大谷 多加志 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(人間文化学)
		臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学			臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学			臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学			臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学
兼任	准教授	小澤 千晶 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	小澤 千晶 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	小澤 千晶 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	准教授	小澤 千晶 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		京都光華の学び アカデミックススキル入門 仏教文化			京都光華の学び アカデミックススキル入門 仏教文化 読解と思考の技法			京都光華の学び 仏教文化 読解と思考の技法			京都光華の学び 仏教文化 健康の科学
兼任	准教授	金治(細川) 宏 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)	兼任	准教授	金治(細川) 宏 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)	兼任	准教授	金治(細川) 宏 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)	兼任	准教授	金治(細川) 宏 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 ソーシャルビジネス 健康政策特別演習Ⅳ			産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 健康政策特別演習Ⅳ			産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 健康政策特別演習Ⅳ			産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	准教授	窪内 敏子 (60) ＜令和4年9月＞ 博士(臨床福祉学)	兼任	准教授	窪内 敏子 (60) ＜令和5年9月＞ 博士(臨床福祉学)	兼任	准教授	窪内 敏子 (61) ＜令和5年9月＞ 博士(臨床福祉学)			
		専門職の連携(基礎)			専門職の連携(基礎)			専門職の連携(基礎)			
兼任	准教授	高井 小織 (61) ＜令和5年9月＞ 修士(人間科学)	兼任	准教授	高井 小織 (61) ＜令和6年9月＞ 修士(人間科学)	兼任	准教授	高井 小織 (62) ＜令和6年9月＞ 修士(人間科学)	兼任	准教授	高井 小織 (63) ＜令和6年9月＞ 修士(人間科学)
		特別支援教育			特別支援教育			特別支援教育			特別支援教育
兼任	准教授	礪波(竹内) 朋子 (49) ＜令和5年9月＞ 修士(学術)	兼任	准教授	礪波(竹内) 朋子 (49) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)	兼任	准教授	礪波(竹内) 朋子 (50) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)	兼任	准教授	礪波(竹内) 朋子 (51) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)
		発達心理学入門 子どもと人間関係			発達心理学入門 子どもと人間関係			発達心理学入門 子どもと人間関係			発達心理学入門 子どもと人間関係

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	西 孝一郎 (64) ＜令和4年4月＞ 教育学士	産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	橋口 美智留 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(栄養学)	生命科学の基礎
兼任	准教授	藤村 佳子 (40) ＜令和5年9月＞ 修士(経営学)	女性とビジネス 女性のアントレプレナーシップ
兼任	准教授	南 多恵子 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	ボランティア論
兼任	講師	河嶋 伸久 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(栄養学)	公衆栄養学
兼任	講師	谷本 拓郎 (38) ＜令和5年9月＞ 修士(学術)	青年心理学
兼任	講師	小島 英実絵 (41) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)	専門職の連携(基礎)
兼任	講師	Strickland Zachary Marcus (40) ＜令和4年4月＞ Bachelor(米国)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	西 孝一郎 (64) ＜令和5年4月＞ 教育学士	産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	橋口 美智留 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	生命科学の基礎
兼任	准教授	藤村 佳子 (40) ＜令和6年4月＞ 修士(経営学)	インターンシップ 女性とビジネス
兼任	准教授	南 多恵子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)	ボランティア論
兼任	准教授	大島 祥子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	産官学連携プロジェクト ソーシャルビジネス 女性のアントレプレナーシップ
兼任	准教授	関 道子 (54) ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)	産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	森 久美子 (62) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	京都光華の学び
兼任	准教授	河嶋 伸久 (40) ＜令和7年4月＞ 博士(栄養学)	公衆栄養学
兼任	講師	谷本 拓郎 (38) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)	青年心理学 専門職の連携(基礎)
兼任	講師	Strickland Zachary Marcus (41) ＜令和5年4月＞ Bachelor(米国)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 多文化理解
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	橋口 美智留 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	生命科学の基礎
兼任	准教授	藤村 佳子 (41) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)	キャリア実習 インターンシップ
兼任	准教授	大島 祥子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	産官学連携プロジェクト ソーシャルビジネス 女性のアントレプレナーシップ
兼任	教授	関 道子 (55) ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)	産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	森 久美子 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	京都光華の学び
兼任	准教授	河嶋 伸久 (41) ＜令和7年4月＞ 博士(栄養学)	公衆栄養学
兼任	講師	谷本 拓郎 (39) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)	青年心理学 専門職の連携(基礎) 健康の科学
兼任	講師	Strickland Zachary Marcus (42) ＜令和5年4月＞ Bachelor(米国)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ English in Use A English in Use D 多文化理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	浜内 彩乃 (37) ＜令和4年9月＞ 修士(心理学)				兼任	准教授	浜内 彩乃 (37) ＜令和4年9月＞ 修士(心理学)	兼任	准教授	浜内 彩乃 (39) ＜令和4年9月＞ 修士(心理学)
		専門職の連携(基礎)						産官学連携プロジェクト 専門職の連携(基礎)口			専門職の連携(基礎)口
			兼任	講師	佐藤 嘉洋 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)		兼任	佐藤 嘉洋 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	佐藤 嘉洋 (42) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
					教的处理の基礎 産官学連携プロジェクト インターンシップ 社会調査法 データ解析入門 コンピュータ活用C			キャリア実習 インターンシップ データサイエンスのための 数学 データサイエンスPBL 社会調査法			キャリア実習 インターンシップ データサイエンスのための数 学 データサイエンスPBL 社会調査法 データサイエンス実践
			兼任	講師	村上 貴栄 (54) ＜令和5年9月＞ 修士(社会福祉学)						
					専門職の連携(基礎)						
			兼任	講師	巽 美奈子 (54) ＜令和5年9月＞ 修士(文学)						
					専門職の連携(基礎)						
			兼任	講師	太田 藤子 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)		兼任	太田 藤子 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	太田 藤子 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
					アカデミックスキル入門 アカデミックライティン グ			仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ アカデミックスキル入門 アカデミックライティン グ			仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ アカデミックスキル入門 健康の科学 読解と思考の技法
									兼任	教授	中平 みわ (60) ＜令和6年4月＞ 看護学修士
											健康の科学
									兼任	講師	宮原 佑貴子 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
											健康の科学
									兼任	講師	吳 鴻 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(芸術学)
											健康の科学
									兼任	講師	西谷 美智子 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
											健康の科学
									兼任	講師	白水 雅子 (46) ＜令和6年4月＞ 博士(口腔保健福祉学)
											健康の科学
									兼任	教授	越智 紀子 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(人間科学)
											産官学連携プロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	青木 知史 (58) ＜令和5年9月＞ 教育学修士	兼任	講師	青木 知史 (58) ＜令和6年9月＞ 教育学修士	兼任	講師	青木 知史 (59) ＜令和6年9月＞ 教育学修士	兼任	講師	青木 知史 (60) ＜令和6年9月＞ 教育学修士
		学習・言語心理学			学習・言語心理学			学習・言語心理学			学習・言語心理学
兼任	講師	朝倉 眞一 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（農学）	兼任	講師	朝倉 眞一 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（農学）	兼任	講師	朝倉 眞一 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（農学）	兼任	講師	朝倉 眞一 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（農学）
		京都光華の学び			京都光華の学び アカデミックスキル入門			京都光華の学び アカデミックスキル入門			京都光華の学び アカデミックスキル入門
兼任	講師	足立 早恵子 (53) ＜令和5年4月＞ 文学士	兼任	講師	足立 早恵子 (53) ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	足立 早恵子 (54) ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	足立 早恵子 (55) ＜令和6年4月＞ 文学士
		女性と経済			女性と経済			女性と経済			女性と経済
兼任	講師	有廣 悠乃 (30) ＜令和4年4月＞ 修士（国際学）									
		京都光華の学び									
兼任	講師	池原 曜子 (53) ＜令和4年4月＞ 学士（英語学）									
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ									
兼任	講師	石井 智 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	石井 智 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	石井 智 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）	兼任	講師	石井 智 (63) ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）
		スポーツマネジメント論			スポーツマネジメント論			スポーツマネジメント論			スポーツマネジメント論
兼任	講師	石田 佳子 (62) ＜令和4年9月＞ 体育学士	兼任	講師	石田 佳子 (62) ＜令和5年9月＞ 体育学士	兼任	講師	石田 佳子 (63) ＜令和5年9月＞ 体育学士	兼任	講師	石田 佳子 (64) ＜令和5年9月＞ 体育学士
		スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技 アダプテッドスポーツ
兼任	講師	乾 明紀 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	乾 明紀 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）						
		京都光華の学び			京都光華の学び						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	今村 行雄 (51) ＜令和5年9月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (48) ＜令和5年9月＞ 文学修士	健康政策特別演習Ⅰ 健康政策特別演習Ⅲ
兼任	講師	上 英俊 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)	健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (31) ＜令和6年9月＞ 修士(人間科学)	労働社会学
兼任	講師	梶 哲也 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)	仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ
兼任	講師	風岡 宗人 (44) ＜令和5年9月＞ 修士(政策学)	社会政策
兼任	講師	樫 智子 (62) ＜令和4年9月＞ 体育学士	スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)	日本文化の理解
兼任	講師	木原 香代子 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	心理学
兼任	講師	Carolyn Wright (59) ＜令和4年4月＞ 社会学博士	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 国際社会とジェンダー
兼任	講師	黒澤 暁 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)※	日本文化の理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	今村 行雄 (51) ＜令和6年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (65) ＜令和6年9月＞ 文学修士	健康政策特別演習Ⅰ 健康政策特別演習Ⅲ
兼任	講師	上 英俊 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(人間・環境学)	健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (31) ＜令和7年9月＞ 修士(人間科学)	労働社会学
兼任	講師	梶 哲也 (40) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ
兼任	講師	風岡 宗人 (44) ＜令和6年9月＞ 修士(政策学)	社会政策
兼任	講師	樫 智子 (62) ＜令和5年9月＞ 体育学士	スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (41) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	日本文化の理解
兼任	講師	木原 香代子 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	心理学
兼任	講師	黒澤 暁 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)※	日本文化の理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	今村 行雄 (52) ＜令和6年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (66) ＜令和6年9月＞ 文学修士	健康政策特別演習Ⅰ 健康政策特別演習Ⅲ
兼任	講師	上 英俊 (50) ＜令和5年9月＞ 博士(人間・環境学)	健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (31) ＜令和7年9月＞ 修士(人間科学)	労働社会学
兼任	講師	樫 智子 (63) ＜令和5年4月＞ 体育学士	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (42) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (45) ＜令和5年9月＞ 博士(文学)	アカデミックライティング
兼任	講師	木原 香代子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	心理学
兼任	講師	黒澤 暁 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)※	日本文化の理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	今村 行雄 (53) ＜令和6年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (67) ＜令和6年9月＞ 文学修士	健康政策特別演習Ⅰ 健康政策特別演習Ⅲ
兼任	講師	上 英俊 (51) ＜令和6年9月＞ 博士(人間・環境学)	健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (32) ＜令和7年9月＞ 修士(人間科学)	労働社会学
兼任	講師	樫 智子 (64) ＜令和5年4月＞ 体育学士	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (43) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (46) ＜令和5年9月＞ 博士(文学)	アカデミックライティング
兼任	講師	木原 香代子 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	心理学
兼任	講師	黒澤 暁 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)※	日本文化の理解

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	近藤 実千代 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	近藤 実千代 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（法学）		
		日本国憲法 現代社会と法	日本国憲法 現代社会と法		
兼任	講師	齋藤 鮎子 (35) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）			
		アカデミックスキル入門			
兼任	講師	座古 亜紀 (53) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）	座古 亜紀 (53) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）		
		情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用	情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用		
兼任	講師	佐々木 幸喜 (36) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐々木 幸喜 (36) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐々木 幸喜 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐々木 幸喜 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本語SⅠ 日本語SⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本語SⅠ 日本語SⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ
兼任	講師	佐藤 真理恵 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐藤 真理恵 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐藤 真理恵 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	佐藤 真理恵 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）
		芸術文化論	芸術文化論	芸術文化論	芸術文化論
兼任	講師	澤田 裕子 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）	澤田 裕子 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	澤田 裕子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）	澤田 裕子 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）
		アカデミックライティング 京都の歴史と文化	アカデミックライティング 京都の歴史と文化	京都の歴史と文化	京都の歴史と文化
兼任	講師	澤田 依子 (48) ＜令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）	澤田 依子 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（人間・環境学）	澤田 依子 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（人間・環境学）	
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	
兼任	講師	James Drayton (66) ＜令和4年4月＞ 哲学修士		James Drayton (68) ＜令和5年4月＞ 哲学修士	
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	
兼任	講師	塩田 潤 (30) ＜令和4年9月＞ 政治学修士	塩田 潤 (30) ＜令和5年9月＞ 政治学修士	塩田 潤 (31) ＜令和5年9月＞ 政治学修士	
		現代社会と政治	現代社会と政治	現代社会と政治	
兼任	講師	島田 淳子 (58) ＜令和6年9月＞ 家政学士	島田 淳子 (58) ＜令和7年9月＞ 家政学士	島田 淳子 (59) ＜令和7年9月＞ 家政学士	島田 淳子 (60) ＜令和7年9月＞ 家政学士
		子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 伸賢 (49) ＜令和6年4月＞ 学士（法学）	清水 伸賢 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	清水 伸賢 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	清水 伸賢 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		労働と法規	労働と法規	労働と法規	労働と法規
兼任	講師	菅 浩江 (58) ＜令和4年4月＞ 「高等学校卒」	菅 浩江 (59) ＜令和5年4月＞ 「高等学校卒」	菅 浩江 (60) ＜令和5年4月＞ 「高等学校卒」	菅 浩江 (61) ＜令和5年4月＞ 「高等学校卒」
		サブカルチャー論	サブカルチャー論	サブカルチャー論	サブカルチャー論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	杉岡 秀紀 (41) ＜令和5年4月＞ 修士（政策科学）	兼任	講師	杉岡 秀紀 (41) ＜令和6年4月＞ 修士（政策科学）	兼任	講師	杉岡 秀紀 (42) ＜令和6年4月＞ 修士（政策科学）
		地域公共政策			地域公共政策			地域公共政策
兼任	講師	千田 真喜子 (61) ＜令和4年4月＞ 家政学修士	兼任	講師	千田 真喜子 (61) ＜令和5年9月＞ 家政学修士	兼任	講師	千田 真喜子 (62) ＜令和5年9月＞ 家政学修士
		食生活と健康			食生活と健康			食生活と健康
兼任	講師	高居 佐紀 (53) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）						
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ						
兼任	講師	高橋 学 (52) ＜令和4年4月＞ 外国語学修士	兼任	講師	高橋 学 (52) ＜令和5年4月＞ 外国語学修士	兼任	講師	高橋 学 (53) ＜令和5年4月＞ 外国語学修士
		ハングルⅠ ハングルⅡ			ハングルⅠ ハングルⅡ			ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	高林 佑丞 (35) ＜令和6年9月＞ 学士（総合政策学）	兼任	講師	高林 佑丞 (35) ＜令和6年9月＞ 学士（総合政策学）	兼任	講師	高林 佑丞 (36) ＜令和6年9月＞ 学士（総合政策学）
		伝統文化			伝統文化			伝統文化
兼任	講師	高林 由紀子 (56) ＜令和6年9月＞ 学士（文学）	兼任	講師	高林 由紀子 (56) ＜令和6年9月＞ 学士（文学）	兼任	講師	高林 由紀子 (57) ＜令和6年9月＞ 学士（文学）
		伝統文化			伝統文化			伝統文化
兼任	講師	竹中 正太郎 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	竹中 正太郎 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	竹中 正太郎 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		哲学と倫理			哲学と倫理			哲学と倫理
兼任	講師	田中 はるみ (63) ＜令和5年4月＞ 短期大学士	兼任	講師	田中 はるみ (63) ＜令和6年4月＞ 短期大学士	兼任	講師	田中 はるみ (63) ＜令和6年4月＞ 短期大学士
		メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用 ドクターズクラークⅠ ドクターズクラークⅡ	兼任	講師	メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用 ドクターズクラークⅠ ドクターズクラークⅡ	兼任	講師	メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用 ドクターズクラークⅠ ドクターズクラークⅡ
兼任	講師	樽田 勇樹 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	樽田 勇樹 (34) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	樽田 勇樹 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
		アカデミックスキル入門			アカデミックスキル入門			アカデミックスキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	張 明和 (69) ＜令和4年4月＞ 文学博士「※」	兼任	講師	張 明和 (69) ＜令和5年4月＞ 文学博士「※」			
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			
兼任	講師	トーマス パートウ (68) ＜令和4年4月＞ Ph.Din Political Theory (米国)	兼任	講師	トーマス パートウ (69) ＜令和5年4月＞ Ph.Din Political Theory (米国)	兼任	講師	トーマス パートウ (70) ＜令和5年4月＞ Ph.Din Political Theory (米国)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (26) ＜令和6年4月＞ 学士(教育学)	健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (43) ＜令和6年9月＞ 学士(法学)	伝統文化
兼任	講師	中村 真理絵 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)「※」	文化人類学
兼任	講師	中谷 聡 (47) ＜令和5年4月＞ 新聞学修士	社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (32) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)	アカデミックススキル入門
兼任	講師	西池 沙織 (36) ＜令和4年9月＞ 学士(言語・文化)	生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(人間・環境学)	アカデミックススキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	萩本 房子 (61) ＜令和6年9月＞ 文学士	伝統文化
兼任	講師	ビーティ 由紀子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 医療英語
兼任	講師	藤田 佳代 (57) ＜令和6年9月＞ 教育学士	伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (38) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)	生命の科学
兼任	講師	堀田 聰子 (46) ＜令和6年9月＞ 博士(国際公共政策)	社会的処方

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (27) ＜令和7年4月＞ 学士(教育学)	健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (43) ＜令和7年9月＞ 学士(法学)	伝統文化
兼任	講師	中谷 聡 (48) ＜令和6年4月＞ 新聞学修士	社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (32) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	アカデミックススキル入門
兼任	講師	西池 沙織 (36) ＜令和5年9月＞ 学士(言語・文化)	生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (43) ＜令和5年4月＞ 修士(人間・環境学)	アカデミックススキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	萩本 房子 (61) ＜令和7年9月＞ 文学士	伝統文化
兼任	講師	藤田 佳代 (57) ＜令和7年9月＞ 教育学士	伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (38) ＜令和5年9月＞ 博士(工学)	生命の科学
兼任	講師	堀田 聰子 (46) ＜令和7年9月＞ 博士(国際公共政策)	社会的処方

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (28) ＜令和7年4月＞ 学士(教育学)	健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (44) ＜令和7年9月＞ 学士(法学)	伝統文化
兼任	講師	中谷 聡 (48) ＜令和6年4月＞ 新聞学修士	社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	アカデミックススキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	西池 沙織 (37) ＜令和5年9月＞ 学士(言語・文化)	生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士(人間・環境学)	アカデミックススキル入門
兼任	講師	萩本 房子 (62) ＜令和7年9月＞ 文学士	伝統文化
兼任	講師	ビーティ 由紀子 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	藤田 佳代 (58) ＜令和7年9月＞ 教育学士	伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (39) ＜令和5年9月＞ 博士(工学)	生命の科学
兼任	講師	堀田 聰子 (46) ＜令和7年9月＞ 博士(国際公共政策)	社会的処方

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (29) ＜令和7年4月＞ 学士(教育学)	健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (45) ＜令和7年9月＞ 学士(法学)	伝統文化
兼任	講師	中谷 聡 (48) ＜令和6年4月＞ 新聞学修士	社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (34) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	アカデミックススキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	西池 沙織 (38) ＜令和5年9月＞ 学士(言語・文化)	生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士(人間・環境学)	アカデミックススキル入門
兼任	講師	萩本 房子 (63) ＜令和7年9月＞ 文学士	伝統文化
兼任	講師	藤田 佳代 (59) ＜令和7年9月＞ 教育学士	伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (40) ＜令和5年9月＞ 博士(工学)	生命の科学
兼任	講師	堀田 聰子 (47) ＜令和7年9月＞ 博士(国際公共政策)	社会的処方

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	堀 善昭 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	堀 善昭 (49) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	堀 善昭 (50) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	堀 善昭 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		高齢者福祉			高齢者福祉			高齢者福祉			高齢者福祉
専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	眞鍋 邦大 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(農学)	兼任	講師	眞鍋 邦大 (43) ＜令和7年4月＞ 博士(農学)	兼任	講師	眞鍋 邦大 (44) ＜令和7年4月＞ 博士(農学)	兼任	講師	眞鍋 邦大 (45) ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		食マーケティング論			食マーケティング論			食マーケティング論			食マーケティング論
兼任	講師	三井 規裕 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)									
		情報社会の理解									
兼任	講師	蓑川 恵理子 (64) ＜令和4年4月＞ 文学博士	兼任	講師	蓑川 恵理子 (64) ＜令和5年4月＞ 文学博士	兼任	講師	蓑川 恵理子 (65) ＜令和5年4月＞ 文学博士	兼任	講師	蓑川 恵理子 (66) ＜令和5年4月＞ 文学博士
		言語と文学 日本語表現の技法			言語と文学 日本語表現の技法			言語と文学			言語と文学
兼任	講師	宮村 裕子 (46) ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	宮村 裕子 (46) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	宮村 裕子 (46) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	宮村 裕子 (47) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)
		生涯学習			生涯学習			生涯学習			生涯学習
兼任	講師	森合 真一 (58) ＜令和6年9月＞ 修士(学術)	兼任	講師	森合 真一 (59) ＜令和7年9月＞ 修士(学術)	兼任	講師	森合 真一 (60) ＜令和7年9月＞ 修士(学術)	兼任	講師	森合 真一 (61) ＜令和7年9月＞ 修士(学術)
		社会保障論			社会保障論			社会保障論			社会保障論
兼任	講師	山下 直之 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(体育学)	兼任	講師	山下 直之 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(体育学)						
		スポーツ実技Ⅰ			スポーツ実技Ⅰ						
兼任	講師	山田 宗寛 (55) ＜令和5年9月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	山田 宗寛 (56) ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	山田 宗寛 (57) ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)			
		仏教と社会福祉			仏教と社会福祉			仏教と社会福祉			
兼任	講師	劉 梅玲 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	劉 梅玲 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	劉 梅玲 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	劉 梅玲 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅱ
兼任	講師	脇田 哲志 (66) ＜令和4年4月＞ 法学士	兼任	講師	脇田 哲志 (66) ＜令和5年4月＞ 法学士	兼任	講師	脇田 哲志 (67) ＜令和5年4月＞ 法学士	兼任	講師	脇田 哲志 (68) ＜令和5年4月＞ 法学士
		現代欧米事情 国際社会の理解			現代欧米事情 国際社会の理解			現代欧米事情 国際社会の理解			現代欧米事情 国際社会の理解
兼任	講師	脇原 大輔 (39) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)	兼任	講師	脇原 大輔 (40) ＜令和6年4月＞ 学士(工学)	兼任	講師	脇原 大輔 (41) ＜令和6年4月＞ 学士(工学)	兼任	講師	脇原 大輔 (42) ＜令和6年4月＞ 学士(工学)
		Webデザイン			Webデザイン			Webデザイン			Webデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	Pearce Layton Strickland (36) ＜令和5年4月＞ 教育指導修士	兼任	講師	Pearce Layton Strickland (37) ＜令和5年4月＞ 教育指導修士			
					総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ			English in Use A English in Use B English in Use D English in Use E			
			兼任	講師	Robert Quinn (64) ＜令和5年4月＞ 歴史学H. B. A						
					総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ						
			兼任	講師	韓 亨模 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（神学）	兼任	講師	韓 亨模 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（神学）	兼任	講師	韓 亨模 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（神学）
					ハングルⅠ ハングルⅡ			ハングルⅠ ハングルⅡ			ハングルⅠ ハングルⅡ
			兼任	講師	久米 雅 (43) ＜令和5年9月＞ 博士（体育科学）	兼任	講師	久米 雅 (44) ＜令和5年9月＞ 博士（体育科学）	兼任	講師	久米 雅 (45) ＜令和5年9月＞ 博士（体育科学）
					スポーツ実技Ⅱ			健康の科学			健康の科学
			兼任	講師	辻 貴志 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（人間文化学）	兼任	講師	辻 貴志 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（人間文化学）			
					文化人類学			文化人類学			
			兼任	講師	Galsanjigmed Enkhzul (31) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	講師	Galsanjigmed Enkhzul (32) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	講師	Galsanjigmed Enkhzul (33) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）
					国際社会とジェンダー			国際社会とジェンダー			国際社会とジェンダー
			兼任	講師	渡口 晶子 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）						
					日本国憲法						
			兼任	講師	玉木 亜紀子 (57) ＜令和5年9月＞ 短期大学士	兼任	講師	玉木 亜紀子 (58) ＜令和5年4月＞ 短期大学士			
					情報リテラシー応用			データサイエンス入門 情報リテラシー 情報技術の理解			
			兼任	講師	小城 弥生 (54) ＜令和5年4月＞ 高等学校卒	兼任	講師	小城 弥生 (55) ＜令和5年4月＞ 高等学校卒	兼任	講師	小城 弥生 (56) ＜令和5年4月＞ 高等学校卒
					情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用			データサイエンス入門 情報リテラシー 情報技術の理解			データサイエンス入門 情報リテラシー
			兼任	講師	中宮 朋子 (57) ＜令和6年4月＞ 短期大学士	兼任	講師	中宮 朋子 (57) ＜令和6年4月＞ 短期大学士	兼任	講師	中宮 朋子 (58) ＜令和6年4月＞ 短期大学士
					メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用			メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用			メディカルクラークⅠ メディカルクラークⅡ メディカルクラーク応用
						兼任	講師	武田 春美 (61) ＜令和5年4月＞ 短期大学士	兼任	講師	武田 春美 (62) ＜令和5年4月＞ 短期大学士
								データサイエンス入門 情報リテラシー 情報技術の理解			データサイエンス入門 情報リテラシー
			兼任	講師	岩佐 匠 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）※	兼任	講師	岩佐 匠 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）※	兼任	講師	岩佐 匠 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）※
					総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								川西 千弘 (66) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
								健康の科学
								木下 栄子 (56) ＜令和6年9月＞ 修士(文学)
								専門職の連携(基礎)
								石盛 真徳 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)
								産業・組織心理学

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・令和4年度入学生がいなかったため、専任教員以外の教員の就任年度を1年延期。ただし、開講時期変更や担当科目変更に伴う就任時期変更の場合は、下記に個別に記載。

【専任】

- ・酒井浩二教授 科目担当者の調整に伴い、担当科目「社会調査法」「アカデミックライティング」を削除
- ・中木直子講師 科目担当者の調整に伴い、担当科目「健康の科学」を削除
- 【兼任】
- ・阿部一晴教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「情報社会の理解」を追加
- ・伊藤美加教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「人権教育」を追加
- ・加藤千恵教授 担当者変更に伴い、担当科目「インターンシップ」を削除
- ・河村民平教授 担当科目「医療英語」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・木戸美幸教授 定年退職に伴い、担当科目「多文化理解」を削除
- ・河野和清教授 担当者変更に伴い、担当科目「人権教育」を削除
- ・ 担当科目「教育の制度・運営」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・ 定年退職に伴い、兼任教授から兼任講師に変更
- ・千野美和子教授 定年退職に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・谷本寛文教授 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を削除
- ・土居淳子教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」「読解と思考の技法」「産官学連携プロジェクト」を追加
- ・ 担当者変更に伴い、担当科目「データ解析入門」を削除
- ・ 担当科目変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
- ・小澤千晶准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を追加
- ・金治宏准教授 担当者変更に伴い、担当科目「ソーシャルビジネス」を削除
- ・藤村佳子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「インターンシップ」を追加
- ・ 担当者変更に伴い、担当科目「女性のアントレプレナーシップ」を削除
- ・ 担当科目変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・大島祥子准教授 教育効果向上の理由に伴い、下記の担当科目を追加
- ・ 「産官学連携プロジェクト」「ソーシャルビジネス」「女性のアントレプレナーシップ」
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を追加
- ・森久美子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」を追加
- ・河嶋伸久准教授 昇任に伴い、職位を「准教授」に変更
- ・谷本拓郎講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
- ・小島実絵講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・Strickland Zachary Marcus講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「多文化理解」を追加

- ・浜内彩乃講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・佐藤嘉洋講師 教育効果向上の理由に伴い、下記の担当科目を追加
- ・ 「数処理の基礎」「産官学連携プロジェクト」「インターンシップ」「社会調査法」「データ解析入門」「コンピュータ活用C」
- ・村上貴栄講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
- ・巽美奈子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加

【兼任】

- ・朝倉真一講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を追加
- ・有廣悠乃講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「京都光華の学び」を削除
- ・池原曜子講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・今村行雄講師 担当科目「公衆衛生学」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・上田和彦講師 届出時の記載修正のため、年齢を48歳から65歳に修正。
- ・Carolyn Wright講師 担当者変更に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「国際社会とジェンダー」を削除
- ・齋藤鮎子講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を削除
- ・James Drayton講師 担当者変更に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除
- ・千田真喜子講師 担当科目「食生活と健康」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・高居佐紀講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・中村真理絵講師 担当者変更に伴い、担当科目「文化人類学」を削除
- ・ピーティ由紀子講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「医療英語」を削除
- ・三井規裕講師 担当者変更に伴い、担当科目「情報社会の理解」を削除
- ・太田路子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「アカデミックスキル入門」「アカデミックライティング」
- ・Pearce Layton Strickland講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」
- ・Robert Quinn講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」
- ・韓亨模講師 開講クラス数の調整理由に伴う担当者追加「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」
- ・久米雅講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「スポーツ実技Ⅱ」
- ・辻貴志講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「文化人類学」
- ・Galsanjigmed Enkhzul講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「国際社会とジェンダー」
- ・渡口晶子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「日本国憲法」
- ・玉木亜紀子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「情報リテラシー応用」
- ・小城弥生講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「情報リテラシー基礎」「情報リテラシー応用」
- ・中宮朋子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「メディカルクラークⅠ」「メディカルクラークⅡ」「メディカルクラーク応用」

【令和5年度】

【専任】

- ・吉川秀樹教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「食生活論」を追加
- ・酒井浩二教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「社会調査入門」を追加
- ・千葉晃史講師 担当者変更に伴い、担当科目「ボランティア論」を削除
- ・中木直子講師 教育効果向上の理由により、担当科目名を「応用栄養学Ⅰ」へ変更
- ・ 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加

【兼任】

- ・朝比奈英夫教授 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を追加
- ・阿部一晴教授 担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を削除
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「AIへのアプローチ」を追加
- ・上田修三教授 担当者変更に伴い、担当科目「日本語SⅠ」「日本語SⅡ」を削除
- ・川西千弘講師 定年退職に伴い、「兼任教授」から「兼任講師」に変更
- ・ 担当者変更に伴い、担当科目「心理学概論」を削除
- ・河原聡子教授 定年退職に伴い、担当科目「数処理の基礎」を削除
- ・河村民平教授 担当者変更に伴い、担当科目「医療英語」を削除
- ・田縁眞弓教授 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「英語文献を読むⅠ」「英語文献を読むⅡ」を削除
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「EnglishinUseC」「EnglishinUseF」を追加
- ・土居淳子教授 担当者変更に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を削除
- ・ 教育効果向上の理由により、科目名称を「データ解析応用（データサイエンス発展）」へ変更し、担当者変更のため担当科目としては削除
- ・ 担当者変更に伴い、担当科目「データサイエンスへのアプローチ」を追加
- ・西川智文教授 担当者変更に伴い、担当科目「健康の科学」を削除
- ・吉田咲子教授 担当者変更に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を削除
- ・船越達也教授 担当者変更に伴い、「生涯スポーツ論」を追加
- ・内田和寿准教授 担当科目変更に伴い、就任年月を変更
- ・ 開講クラス数の調整に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を追加
- ・ 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「アダプテッドスポーツ」を追加
- ・小澤千晶准教授 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を削除
- ・西孝一郎准教授 定年退職に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を削除

- ・藤村佳子准教授 担当科目変更に伴い、就任年月を変更
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「女性とビジネス」を削除
三省合意によるインターンシップ制度の見直しにより、「キャリア実習」を追加
- ・南多恵子准教授 退職に伴い、担当科目「ボランティア論」を削除
- ・関道子教授 昇任に伴い、職位を「教授」に変更
- ・StricklandZacharyMarcus講師
担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「EnglishinUseA」「EnglishinUseD」「多文化理解」を追加
- ・浜内彩乃准教授 昇任に伴い、職位を「准教授」に変更
担当者変更に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」「専門職の連携（基礎）」を追加
- ・佐藤嘉洋講師 三省合意によるインターンシップ制度の見直しにより、「キャリア実習」を追加
担当者変更に伴い、担当科目「数的処理の基礎」「産官学連携プロジェクト」を削除
教育効果向上の理由に伴い、「データサイエンスのための数学」「データサイエンスPBL」を追加
教育効果向上の理由により、科目名称を「データ解析応用（データサイエンス発展）」へ変更し、担当者変更のため担当科目としては削除
- ・村上貴栄講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・巽美奈子講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・乾明紀講師 担当者変更に伴い、担当科目「京都光華の学び」を削除
- ・上英俊講師 配当年度変更に伴い、就任年月を変更
- ・梶哲也講師 担当者変更に伴い、担当科目「仏教の人間観Ⅰ」「仏教の人間観Ⅱ」を削除
- ・風岡宗人講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「社会政策」を削除
- ・櫻智子講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を追加
担当者変更に伴い、就任年月を変更
- ・北井佑実子講師 担当科目変更に伴い、就任年月を変更
担当者変更に伴い、担当科目「日本文化の理解」を削除
担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を追加
- ・黒澤暁講師 担当者変更に伴い、担当科目「日本文化の理解」を削除
- ・近藤実千代講師 担当者変更に伴い、担当科目「日本国憲法」「現代社会と法」を削除
- ・座古亜紀講師 担当者変更に伴い、担当科目「情報リテラシー基礎」「情報リテラシー応用」を削除
- ・佐々木幸喜講師 担当者変更に伴い、担当科目「日本語SⅠ」「日本語SⅡ」を追加
- ・澤田裕子講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を削除
- ・JamesDrayton講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を追加
- ・千田眞喜子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「食生活と健康（専門）」を削除
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「食生活と健康（リベラル）」を追加
- ・樽田勇樹講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を追加
- ・張明和講師 担当者変更に伴い、担当科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を削除
- ・中谷聡講師 教育効果向上の理由により、担当科目「社会と統計（社会調査入門）」を削除
- ・南谷静香講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を追加
- ・二條絵美子講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を削除
- ・ピーティ由紀子講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を追加
- ・袁川恵理子講師 教育効果向上の理由により、担当科目「日本語表現の技法」を削除
- ・山下直之講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を削除
- ・太田路子講師 担当者変更に伴い、担当科目「仏教の人間観Ⅰ」「仏教の人間観Ⅱ」を追加
- ・PearceLaytonStrickland講師
担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
教育効果向上の理由に伴い、担当科目「EnglishinUseA」「EnglishinUseB」「EnglishinUseD」「EnglishinUseE」を追加
- ・RobertQuinn講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・久米雅講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅱ」を削除
担当者変更に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
- ・瀧口晶子講師 担当者変更に伴い、担当科目「日本国憲法」を削除
- ・玉木亜紀子講師 担当科目変更に伴い、就任年月を変更
教育効果向上の理由により、科目名称を「情報リテラシー応用」から「データサイエンス入門」へ変更
教育効果向上の理由により、「情報リテラシー」を追加
担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を追加
- ・小城弥生講師 教育効果向上の理由により、科目名称を「情報リテラシー基礎」から「情報リテラシー」へ変更
教育効果向上の理由により、科目名称を「情報リテラシー応用」から「データサイエンス入門」へ変更
担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を追加
担当者変更に伴い、担当科目「データサイエンス入門」「情報リテラシー」「情報技術の理解」を追加
- ・武田春美講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を追加
- ・岩佐匠講師 担当者変更に伴い、担当科目「医療英語」を追加
- ・前田祐子講師 担当者変更に伴い、担当科目「医療英語」を追加
- ・照屋博康講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を追加
- ・照屋博康講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を追加
- ・三井貴美子講師 担当者変更に伴い、担当科目「スポーツ実技Ⅰ」を追加
- ・Thongkornphrakhrupaladsunate講師 教育効果向上の理由により、「マインドフルネス」を追加
- ・今村康子講師 教育効果向上の理由により、「教養圏基入門」を追加
- ・林研講師 教育効果向上の理由により、「くらしのなかの宗教」を追加
- ・大芝理穂講師 担当者変更に伴い、担当科目「日本国憲法」「現代社会と法」を追加
- ・中村飛鳥講師 担当者変更に伴い、担当科目「心理学概論」を追加
- ・役職の変更に伴い、学群長を「吉川秀樹教授」から「酒井浩二教授」へ変更。
- ・教育効果向上の理由により「社会と環境」「女性とメディカル」「データサイエンス実践」「データサイエンス発展」「ビジネスデータ分析基礎」を追加。

ただし、他学科等と共通開講のため、開講年次を迎えるまでは担当者は未定。

【令和6年度】

【専任】

- ・西川潤准教授 専任教員の昇任に伴い、「講師」から「准教授」へ変更。

【兼任】

- ・朝比奈英夫教授 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を追加。誤記載のため、年齢を62歳から63歳に修正。
- ・河村民平教授 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除。
- ・荻津智子教授 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除。
- ・荻津智子教授 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・水道裕久教授 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・森本（矢野）恵子教授 誤記載のため、年齢を68歳から69歳に修正。
- ・土居淳子教授 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を削除。
- ・臼井義比古准教授 担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を追加。
- ・内田和寿准教授 退職に伴い、「スポーツ実技Ⅱ」「生涯スポーツ入門」「スポーツ実技Ⅰ」「アダプテッドスポーツ」を削除。
- ・小澤千晶准教授 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を削除。
- ・小澤千晶准教授 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・窪内敏子准教授 退職に伴い、「専門職の連携（基礎）」を削除。
- ・谷本拓郎講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・浜内彩乃准教授 担当者変更に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を削除。誤記載のため、年齢を38歳から39歳に修正。
- ・佐藤嘉洋講師 担当者変更に伴い、担当科目「データサイエンス実践」を追加。
- ・太田路子講師 時間割調整に伴い、担当科目「アカデミックライティング」を削除。
- ・太田路子講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・太田路子講師 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を追加。
- ・久世奈欧講師 担当者変更に伴い、担当科目「サブカルチャー論」を追加。
- ・中平みわ教授 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・宮原佑貴子講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・呉鴻講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・西谷美智子助教 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・白水雅子講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・越智紀子教授 担当者変更に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を追加。
- ・村上貢栄講師 カリキュラムの変更に伴い、担当科目「心の健康と社会福祉」を追加。
- ・西川秋子講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加。
- ・英香里助教 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加。
- ・衣笠瑞子講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加。

【兼任】

- ・石田佳子講師 教育効果向上の理由により、「スポーツ実技Ⅰ」を追加。
- ・石田佳子講師 担当教員の退職に伴い、「アダプテッドスポーツ」を追加。
- ・澤田依子講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除。
- ・James Drayton講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除。
- ・塩田潤講師 担当者変更に伴い、担当科目「現代社会と政治」を削除。
- ・トーマスバートウ講師 担当者変更に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除。
- ・二條絵美子講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を削除。
- ・ビーティ由紀子講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除。
- ・山田宗寛講師 担当者変更に伴い、担当科目「仏教と社会福祉」を削除。
- ・劉梅玲講師 担当者変更に伴い、担当科目「中国語Ⅰ」を削除。
- ・Pearce Layton Strickland講師 開講クラス数の調整に伴い、担当科目「English in Use A」「English in Use B」「English in Use D」「English in Use E」を削除。
- ・辻貴志講師 担当者変更に伴い、担当科目「文化人類学」を削除。
- ・玉木亜紀子講師 開講クラス数の調整に伴い、担当科目「データサイエンス入門」「情報リテラシー」「情報技術の理解」を削除。
- ・小城弥生講師 担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を削除。
- ・武田春美講師 担当者変更に伴い、担当科目「情報技術の理解」を削除。
- ・林研講師 担当者変更に伴い、担当科目「くらしのなかの宗教」を削除。
- ・山本潤講師 担当者変更に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を追加。
- ・渡邊彦彦講師 担当教員の退職に伴い、「生涯スポーツ入門」「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」を追加。
- ・狭間芳樹講師 担当教員変更に伴い、「くらしのなかの宗教」を追加。
- ・前川愛講師 担当教員変更に伴い、「文化人類学」を追加。
- ・久世奈欧講師 退職に伴い、「サブカルチャー論」を追加。
- ・大村一真講師 担当教員変更に伴い、「現代社会と政治」を追加。
- ・川西千弘講師 教育効果向上の理由により、「健康の科学」を追加。
- ・木下栄子講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加。
- ・石盛真徳講師 教育効果向上の理由により、「産業・組織心理学」を追加。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
49	25
名	名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	1	3	0	7	0	3	2	2	0	7	0
(3)	(1)	(3)	(0)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	2	2	0	7	0	3	2	2	0	7	0
[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合 計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\text{ }} = \frac{\#DIV/0!}{\text{ }} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	科目	必修	科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	科目	選択	科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	科目	自由	科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和3年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員数の 割合が高いことから、 定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努め るとともに、教員組織 編成の将来構想につい て着実に実施する こと。	【認可】 遵守事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	教育内容の充実、広報 活動の強化により定員 充足に向けた改善を 図っている。	【AC】 指摘事項 (改善)	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	収容定員充足率が0.16 倍と著しく低い。教育 内容の更なる充実を図 りつつ、提示された学 生確保に向けた取組等 を確実に実施するとと もに、速やかに長期的 な学生確保の見通しを 客観的根拠に基づき分 析した上で、より効果 的な改善策を新たに講 じる等、入学定員の更 なる充足に努めるこ と。また、当該分析を 踏まえ、入学定員の見 直しも検討すること。	【AC】 指摘事項 (是正)	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、
以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び
「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間健康学群>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①入学者選抜の方法 1) 一般選抜 (前期A、前期B) 2) 学校推薦型選抜 (公募制推薦選抜前期、公募制推薦選抜後期、指定・協定校推薦選抜、真宗大谷派系高等学校推薦選抜、内部推薦選抜) 3) 総合型選抜 4) 光華ファミリー選抜 5) 社会人入学選抜 6) 大学入学共通テスト利用選抜	多様な学生の受入れの観点から、左記1)～6)の入学者選抜に加え、2024年度より留学生を対象とした外国人留学生の入学選抜導入の検討を2023年度に行い、2024年度入試より外国人留学生の入学選抜試験を実施した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月1回定例開催(8月を除く) c 委員会の審議事項等 [FD委員会] 1. 大学運営会議から指示の事項 2. 教育内容・方法に関する事項 3. FD研修の企画・実施に関する事項 4. FDの関係機関との交流に関する事項 5. その他委員会が必要と認めた事項	
② 実施状況 a 実施内容 ・授業アンケート(年2回実施) ・FD研修会(年2回) ・学科内FD活動報告 b 実施方法 [授業アンケート] ・全ての科目について、Web上で学生個人に回答をしてもらう。 [FD研修会] ・全専任教員を対象とし、外部講師を招いたFD研修会または、学内の実践報告を毎年行っている。 [学科内FD活動報告] ・各学科が1年間に行ったFD活動をFD委員会で報告をし、各学科間で情報共有し、各学科のFD活動の改善を行っている。	

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〔授業アンケート〕

- ・前期、後期で各1回実施。学生の回答率は2023年度前期69.8%、後期45.7%。2022年度前期62.1%、後期52.8%。必修授業内での評価実施の周知、実施時期・期間の検討など、回答率向上のための施策を講じている。

〔FD研修会〕

- ・FD研修会の参加率は100%（オンライン開催による参加およびオンデマンド視聴数より）。毎年度、各学科から研修テーマを募り、外部講師の招聘や学内の実践報告を行い、全学の教育改善に努めている。

〔学科内FD活動報告〕

- ・年度当初に年間のFD活動の目標等を設定し、年度末に各学科の1年間のFD活動をFD委員会で報告している。FD委員会で報告された内容は、各学科会議で学科所属教員全員に共有している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔授業アンケート〕

- ・評価結果を教員個人にフィードバックし、授業期間中に授業担当教員から学生へ結果をフィードバックするとともに授業改善を行っている。また、学科内でも結果を共有し、学科をあげて授業改善を行っている。

〔FD研修会・学科内FD活動報告〕

- ・研修内容および各学科の年間活動報告を各学科へ持ち帰り、各学科において、学科FDを行っている。他学科や他の教員の工夫等を聞き、学科全体および教員個人の教育改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期に各1回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記のとおり。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間健康学群では、人の健康の維持・増進に関わる課題を総合的に考え解決に導くために、WHOが提唱する健康の定義の考え方（健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病または病弱が存在しないことではない）に基づき、身体的健康・精神的健康・社会的健康に関わる知識と技能を修得し、人の生涯に渡る健康の維持・増進、延いては社会全体の健康の維持・増進をマネジメントできる能力を修得した人材を養成することを目的としている。このような人材は、今後の社会において、よりニーズの高まる分野であると考えている。

入学者確保の状況については、2022年度は募集開始時期等の都合により、十分な広報が間に合わず、入学者の確保には至らなかった。令和5年度においては、年度開始当初より募集・広報活動を強化し、入学者4名（入学定員12名）を確保したものの入学定員未充足となった。2023年度に入学定員が未充足となった要因として、「学部等連係課程」という仕組みに関して、高校教員や高校生、保護者の理解を得にくかった点や在学生がいない中での募集となったため、高校生に具体的な学生の声や学びのイメージが伝わりにくかったことが推測される。

2024年度の募集に向けては、Webの特設ページを開設し、本学群の学びの特色や魅力、将来像、社会的ニーズの高まりなどを紹介するとともに、Q&A方式で高校生にもわかりやすく伝える工夫をするなど、情報発信を強化。対面の訴求については、前年度2月より全学をあげて積極的に高校訪問を行い、より多くのターゲット層にアクセスし、丁寧な説明を行った。また、オープンキャンパスにおいては、本学群に在籍している学生の生の声や、本学群の学びの特色や魅力等を確実に伝え、学生確保に努めたものの入学者確保にはつながらなかった。

2025年度に向けては、高校訪問や高大接続を引き続き強化し、人間健康学群の教育内容や学部学科横断型の学びについて、高校教員や高校生への理解促進を図る。高校訪問においては、職員の訪問を中心に社会的なニーズが高まっている「フェムテック」やヘルスケア産業で活躍するための「幅広い分野の学び」という本学群の魅力を説得力をもった言葉で伝え、高校教員に対して理解の促進を図る。高大接続においては、教員を中心に出張講義や分野別ガイダンスへ積極的に参加し、教育内容や学部学科横断型の学びについて高校生へ理解促進を図る。また、ガイダンス開催業者への理解促進は職員が中心となり、日々の情報交換の中で理解を促進し、人間健康学群としてガイダンスに参加できるようにPRする。さらに、社会へのアプローチとして、企業・行政・NPOと連携した体験型学習を積極的に取り入れると共に、プレスリリースやホームページを通して社会に情報発信することによって認知度を高める。昨年度に引き続き、本学群の学びの特色・魅力を伝えていく上で有効な手段を教職協働で検討し、PDCAサイクルを回していくことで入学定員充足に向け募集活動に尽力する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月6日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和11年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。